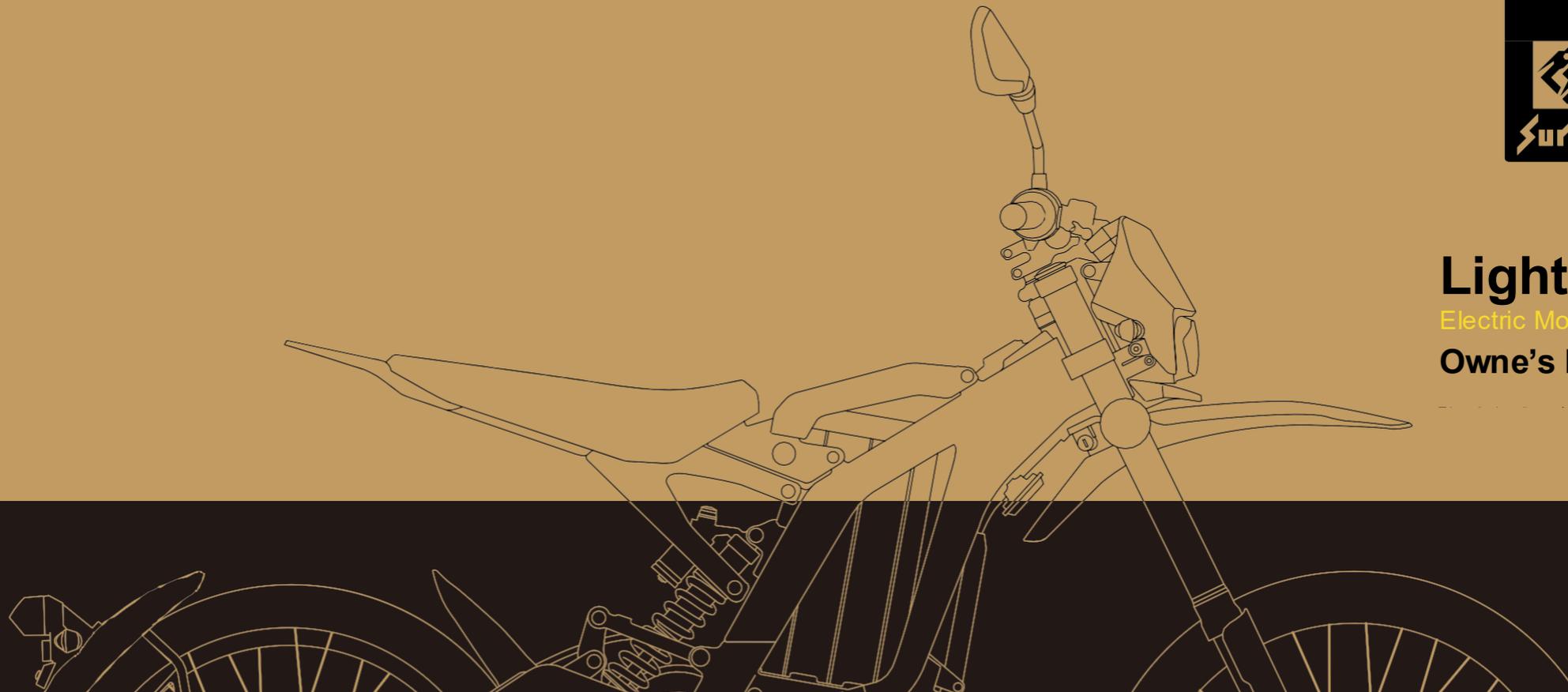




Light Bee L

Electric Motorcycle

Owner's Manual



輸入販売元：株式会社コハクジャパン

住所：東京都葛飾区水本3-22-23

製造元：重慶秋龍科技有限公司

住所：中国重慶市大渡口区榆子溪街道四面村259号

郵便番号：125-0032 電話：03-5876-5058

バージョン：Y029A-EN-V1.1

発行日：2025.9.10

乗車前に本マニュアルをよくお読みいただき、電動バイクの特性をよく理解してご使用ください。

本マニュアルは大切に保管してください。本マニュアルには印刷時点での最新製品情報が記載されていますが、お客様のオートバイの外観や設定は本取扱説明書の情報と異なる場合があります。最新の機能紹介や安全ガイドラインについては、当社ウェブサイト <https://sur-ron.jp/>、お問い合わせフォームよりお問い合わせのほどお願いいたします。

本マニュアルは下記のモデル専用の取扱説明書です。



Light Bee L 2025年モデル

オフロードタイヤ（前輪 70/100-19 後輪 3.00-18）

航続距離を伸ばすライディングのコツ

電動バイク、ライトビーの航続距離は、ガソリンバイクと同様に変動します。電動バイク、ライトビーの航続距離の変動は、満充電後の走行条件に起因します。運転習慣に加え、エネルギー消費量は環境条件（極寒・酷暑、急勾配の坂道や柔らかい砂地での走行など）にも影響を受けます。満充電1回あたりの最大航続距離を伸ばすには、急加速を抑え、一定速度を維持するようにしてください。

理想的な範囲に到達するには、以下のポイントに従ってください：

1. 急激な加速や急ブレーキは避けてください。
2. 安全な状況下では、回生ブレーキを使用して走行距離を延長できます。
3. タイヤの空気圧を適正に保ってください（10.11ページの標準タイヤ空気圧表を参照）。
4. 不要な荷物を降ろしてください。
5. 冬と夏では最大航続距離が若干異なる場合があります。

上記の要因とライダーの運転習慣に基づいて走行可能距離を推定できます。

注：オフロード走行時は様々な路面状況により、走行可能距離は大きく変動します。

はじめに	1.1
重要なお知らせ	1.1
輸送	1.2
安全に関する情報	2.1
安全な走行に関する要件	2.1
重要情報	2.2
重要ラベルの位置	2.3
車両輸送モード解除ガイド	2.6
機能部品の概要	3.1
ディスプレイおよびインジケーター	4.1
ダッシュボードの概要	4.1
機能設定	5.1
ダッシュボード設定	5.1
システム機能設定	5.2

Contents

機能紹介	6.1
ハンドルパーコントロール	6.1
走行モードスイッチ	6.2
バッテリーパックの取り外し	6.3
バッテリーパックの取り付け	6.4
バッテリー底部バッファの取り付け	6.5
充電器	6.6
始動と操作	7.1
走行前点検	7.1
キースイッチ	7.4
バッテリーコンパートメントロック	7.4
乗車	7.5
フロントフォークの調整	7.6
リアショックの調整	7.7

電源管理	8.1
バッテリーパック	8.1
電源と充電	8.2
電力システム管理	9.1
電力システム	9.1
メンテナンス	10.1
メンテナンス項目	10.1
メンテナンス記録	10.1
定期メンテナンス	10.1
定期メンテナンス表	10.2
トルク管理	10.4
バッテリーパック	10.7
ブレーキシステム	10.7
サスペンションシステム	10.10
タイヤ&チューブ	10.11
チェーン	10.12

Contents

ヘッドライト調整.....	10.14
ライト交換.....	10.15
バイクの清掃.....	10.15
長期保管.....	10.17
ライトビー純正部品.....	10.17
ヒューズ.....	10.17
ライトビー電気回路図.....	10.19
トラブルシューティング.....	11.1
ライトビー電動バイクのトラブルシューティング.....	11.1
温度に関する注意事項.....	11.1
安全インターロック.....	11.2
ライトビー電動バイクの注意事項.....	11.2
故障リスト.....	11.4
一般的なトラブルシューティング.....	11.6

保証情報.....	12.1
保証の発効.....	12.1
有効な保証条件.....	12.1
保証期間.....	12.1
保証の継承について.....	12.1
保証対象部品.....	12.2
保証適用外.....	12.2
保証修理の適用.....	12.2
保証修理の対応期間および部品供給について.....	12.2
保証の可否.....	12.3
使用者の遵守事項.....	12.3
付録.....	13.1
メンテナンス記録.....	13.1
アフターサービス記録.....	13.7
パラメータリスト.....	13.9

重要なお知らせ

サーロン ライトビーのご購入を心より感謝申し上げます。

サーロニストコミュニティへようこそ。

乗車前に本マニュアルをよくお読みいただき、電動バイクの特性をよく理解してご使用ください。本マニュアルは、ライトビーの操作・点検・基本メンテナンスについて理解を深めていただくために作成されています。

本マニュアルは当社公式ウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://sur-ron.jp/manual/>よりダウンロードいただけます。更新情報は随時オンラインで公開されますので、最新版は公式ウェブサイトからダウンロードしてください。

オートバイを売却される場合は、必ず本取扱説明書を同梱してください。オートバイの操作やメンテナンスに関するご質問は、正規販売店またはSurrion輸入販売元の株式会社コハクジャパンまでお問い合わせください：

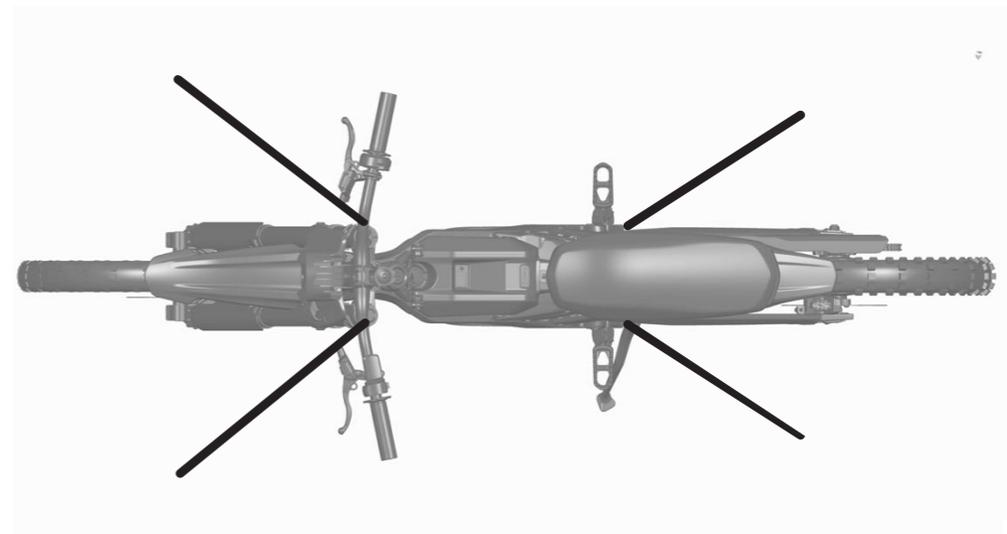
inquiry@sur-ron.jp

警告

コントローラー、バッテリーパック、モーター、または充電器に不具合が生じた場合は、直ちにサーロン正規販売店に連絡し、交換または修理を受けてください。

輸送

輸送時には、ライトビーをタイダウンベルト等で輸送フレームにしっかりと固定することを強く推奨します。傷やその他の損傷を減らすため、タイダウンベルト固定部の養生をお勧めします。図に示すポイントに従ってタイダウンベルトを固定することを推奨します。前方の2本はハンドルバーに、後方の2本は左右のスイングアームに固定します。タイダウンベルトを固定する際は、チェーンやブレーキラインを避けてください。タイダウンベルトはバイクに対して45度の角度で固定する必要があります。使用するタイダウンベルトの取扱説明書に従ってください。



安全な使用方法

Light Beelは高性能電動バイクであり、細心の注意を払って扱う必要があります。

日本の法令および規制を遵守してください。ライトビーオフロードバージョン(Xバージョン)は公道での走行が禁止されています。

適切な安全装備(地域/国家認定のヘルメット、ゴーグル、ライディングブーツ、グローブ、保護服を含む)を着用し、潜在的な負傷リスクを軽減してください。

オートバイ事故による負傷の大半が脚部・足部の衝撃によるものであるため、モトクロスブーツの使用を強く推奨します。

ライトビーを操作する前に、本マニュアルに記載されているすべての警告、指示、および安全ラベルをよくお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

ライトビーを運転する前に、電動バイクを運転するスキルを有していることを必ず確認してください。

ライトビーを運転する前に、アルコールや薬物を摂取しないでください。

ライトビーを運転する際は、ご自身の運転行動に責任を持ってください。危険で無謀な運転はしないでください。公共の安全やご自身の安全を損なうような運転はしないでください。

使用前には、必ず1ページの「乗車前点検」項目のすべてと、バッテリーインジケータに表示されるバッテリー残量を確認してください。

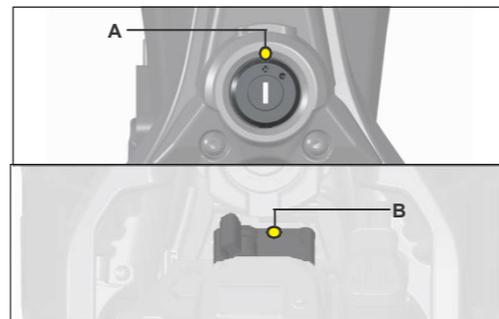
ライトビー電動バイクの良好な状態が安全の鍵です。本マニュアルに記載の定期点検表および調整要件を必ず遵守してください。乗車前に徹底的に点検すべき全項目の重要性を理解しておくことが不可欠です。

ライトビー電動バイクの改造は安全性を損ない、重大な負傷を引き起こす可能性があります。サーロン社および株式会社コハクジャパンは、いかなる無許可の改造についても責任を負いません。

ライトビーに重い物を積載したり、アクセサリを追加しないでください。大型でかさばる物品は、ライトビーの安全性と性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

重要なお知らせ

以下の重要な操作上の注意事項: 走行していない際は、必ずキースイッチAとメイン電源スイッチBをOFF位置に切り替えてください。ライトビー電動バイクは完全に無音であるため、バイクが待機状態にあることに気づきにくいです。乗降時に電源を入れたままにすると事故が発生する可能性があります。



ライトビーのバッテリーパックは、使用后必ず充電してください。充電が完了後、直ちにAC電源から外してください。充電後は充電器と電源を必ず外してください。充電は開放された場所で行うか、監視下で行ってください。

キーがオフの位置にあり、メイン電源スイッチがオフにされている場合、ライトビー電動バイクの電子機器は電力を消費しません。

長期間(30日以上)乗らない場合は、バッテリーパックを最初に充電し、完全に充電されていることを確認する必要があります。

充電残量が少ない状態でのバッテリーパックの保管は損傷の恐れがあります。

注意

Light Beeのバッテリーパックは、純正充電器でのみ充電してください。

バッテリー寿命を最大限に延ばすため、各走行後はすぐにバッテリーパックを充電してください。過放電はバッテリー寿命に悪影響を及ぼします。

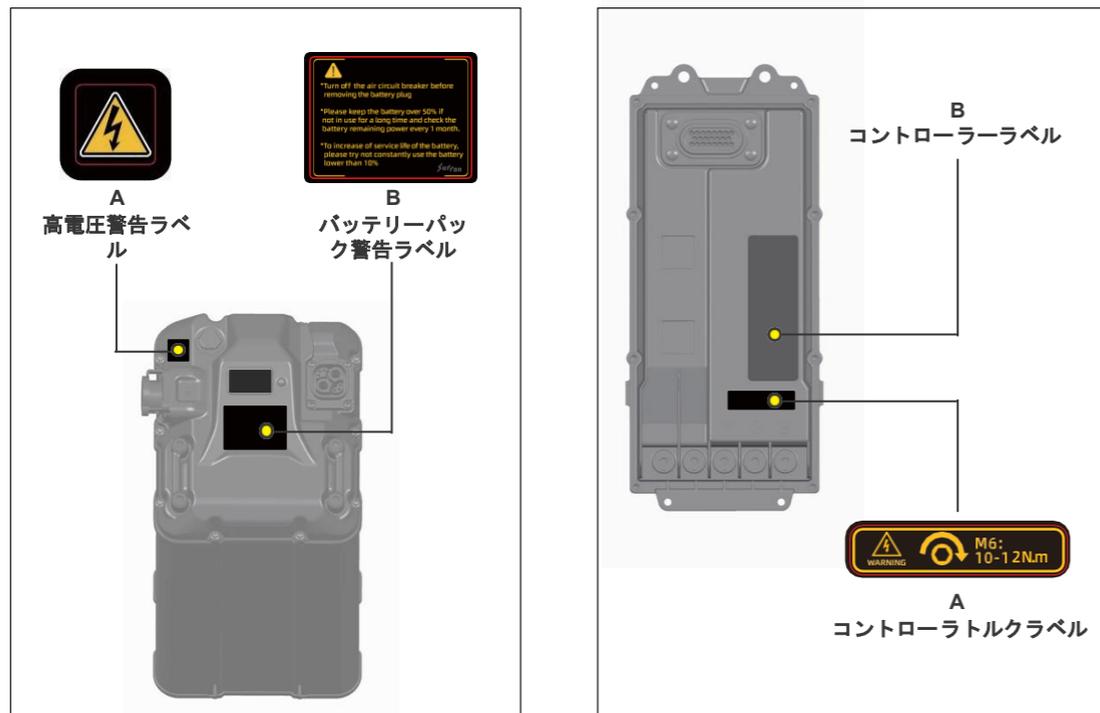
本マニュアルに記載されているバッテリーパックの保管および充電に関する指示に従わない場合、ライトビー電動バイクの保証が無効となる可能性があります。これらのガイドラインは、バッテリーパックの効率と性能を最大限に確保するため、厳格なテストを経て策定されています。

2.3

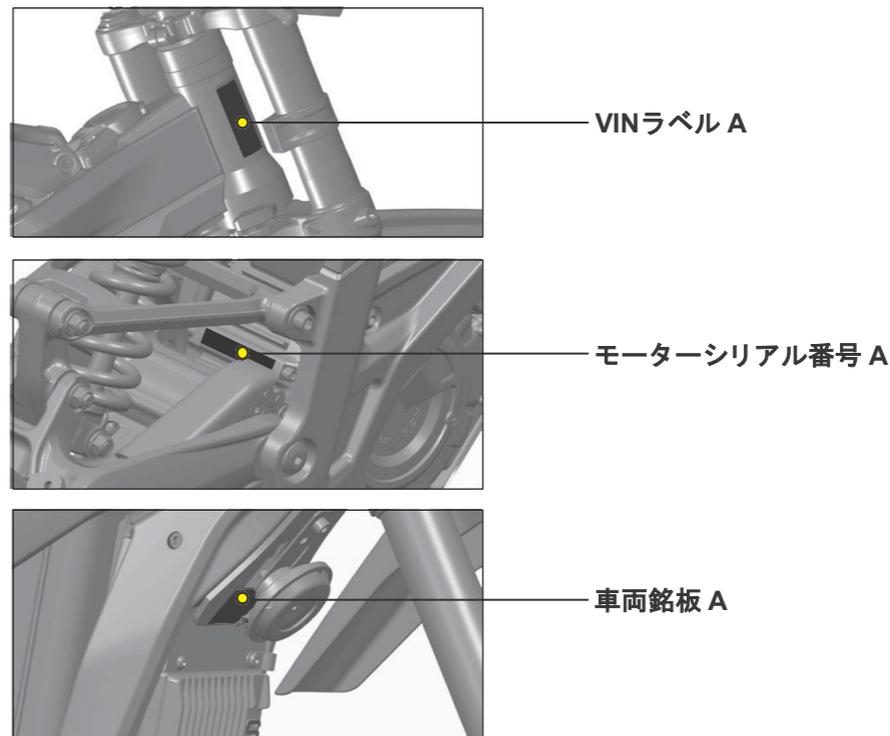
2.4

重要ラベルの位置

2.5

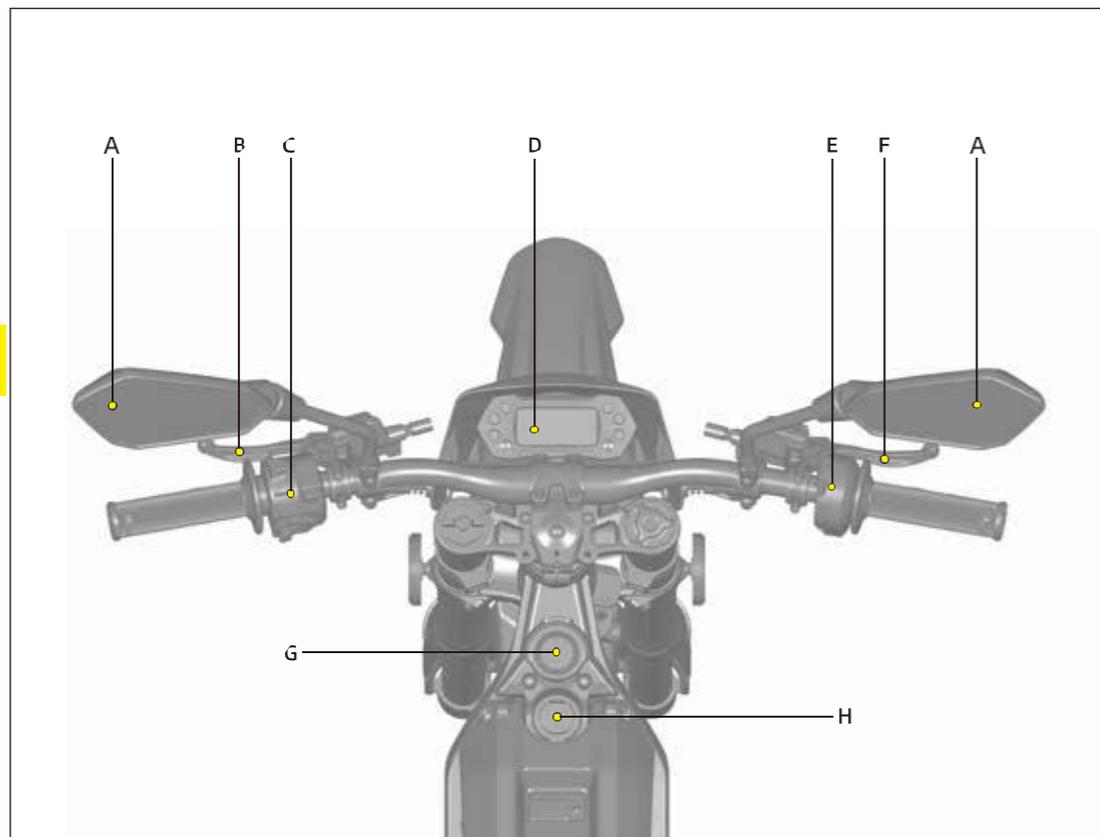


2.6



機能部品概要

3.1



-FETCH LIGHT-飞起来-

機能部品概要

3.2

A. ミラー

ライトビーのミラーは凸面鏡です。凸面鏡は曲面を持ち、平面鏡よりも広い視野を確保できます。ライトビーのミラーを見る際には、鏡に映る物体が実際の距離より遠く見えるため、車間距離を判断する際にはこの差異を考慮する必要があります。

B. リアブレーキレバー

仕様と操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

C. 左コンビネーションスイッチ

説明および操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

D. ダッシュボード

説明および操作については、4.1ページの「表示およびインジケーター」および5.1ページの「機能設定」を参照してください。

E. スロットルグリップ

説明および操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

F. フロントブレーキレバー

仕様と操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

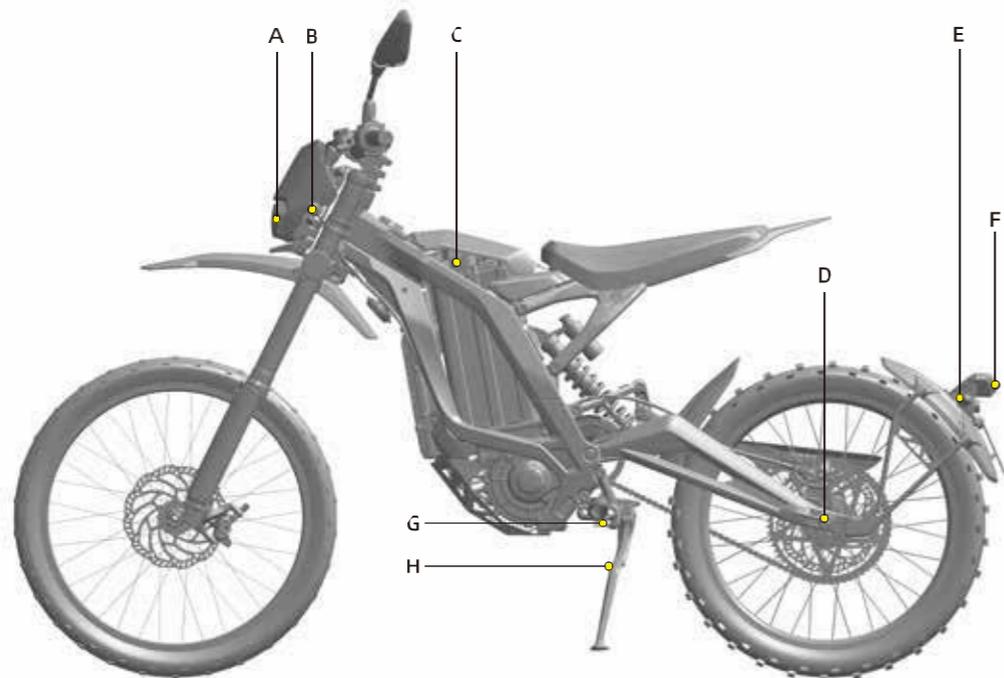
-FETCH LIGHT-飞起来-

F. キースイッチ

説明および操作については、7.4ページの「始動および操作」を参照してください。

G. USBポート

5V 2.4A 標準USB-Aポート。



A. ヘッドライト

ヘッドライトの操作は6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

ヘッドライトの交換については、10.15ページの「メンテナンス」を参照してください。

ヘッドライトの照射高さの調整については、【ヘッドライトの調整】の第10.14ページを参照してください。

B. フロントウインカーの操作については「機能紹介」第6.1ページを参照してください。

フロントウインカーの交換については、「保守・メンテナンス」第10.15ページを参照してください。

C. バッテリー充電ポート

説明と操作については、8.1ページの「電源管理」を参照してください。

D. チェーンアジャスター

左右両側にあります。

「メンテナンス」10.13ページを参照してください。

E. リアウインカーの操作については「機能紹介」第6.1ページを参照してください。

リアウインカーの交換については、「保守・メンテナンス」第10.15ページを参照してください。

F. テールライト

テールライトの交換については、10.14ページの「メンテナンス」を参照してください。

G. サイドスタンドスイッチ

このスイッチはサイドスタンドが下がっている状態での誤作動を防ぐ安全センサーです。

H. サイドスタンド

サイドスタンドは駐車時にオートバイを支えます。駐車時はキースイッチをOFFの位置にしてください。

注意

オートバイは平らで安定した場所に駐車してください。オートバイが倒れて損傷する恐れがあります。



A. リアショックアブソーバー

説明および操作については、7.7 ページの「始動および操作」を参照してください。

B. バッテリーコンパートメントロック

説明および操作については、7.4 ページの「始動および操作」を参照してください。

C. ハンドルロック

説明および操作については、7.4 ページの「始動および操作」を参照してください。

D. フロントフォーク

説明および操作については、7.6 ページの「始動および操作」を参照してください。

E. コントローラ

詳細および操作については、9.1 ページの「電源システム管理」を参照してください。

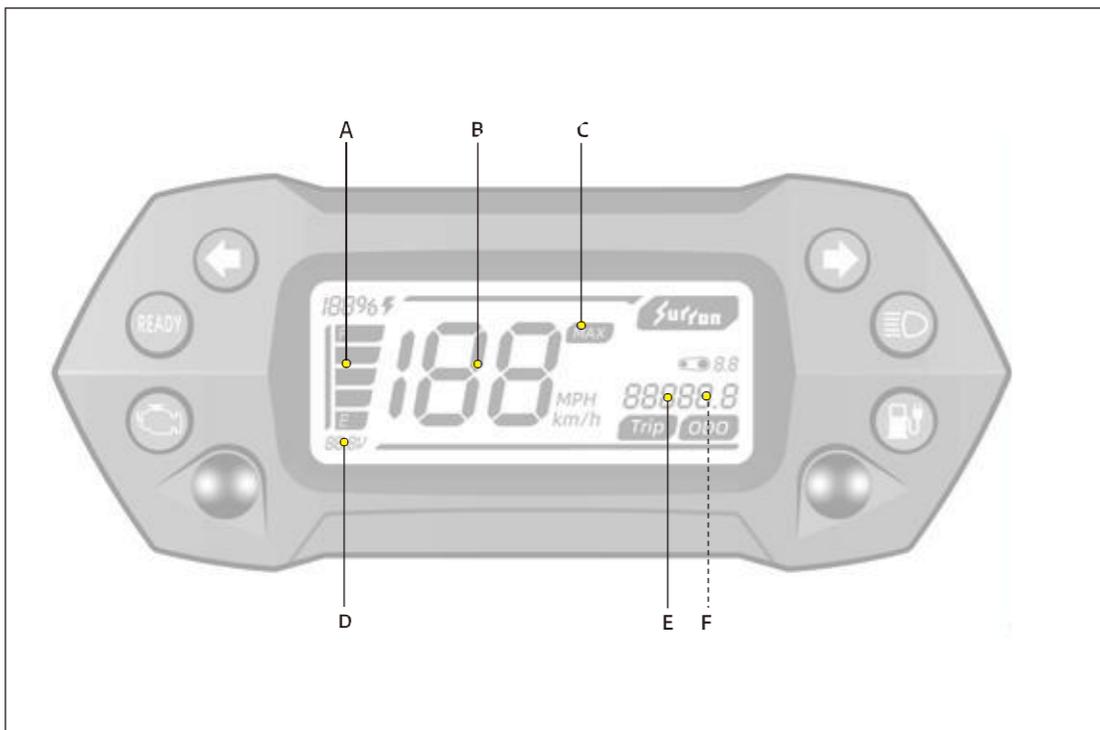
F. バッテリーパック

説明と操作については、8.1 ページの「電源管理」を参照してください。

F. モーター

説明および操作については、9.1 ページの「電力システム管理」を参照してください。

液晶画面



A. 電量表示器

バッテリーの残量を表示し、低残量の際には最後のインジケータが点滅します。

B. スピードメーター

速度計は、キロメートル毎時 (km/h) またはマイル毎時 (mph) で表示されるデジタル表示です。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

C. 最高時速

「MAX」が表示されている場合、速度計の値は前回の走行における最高速度です。

D. 電圧表示器

バッテリーパックの放電端子電圧を表示します。

E. 走行距離計

走行距離計は、走行距離または総走行距離を表示します。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

F. 故障コード表示

車両に故障が発生した場合、メーターに対応する故障コードが表示されます。具体的な故障コードの内容については「トラブルシューティング」第11.4ページをご参照ください。



A. READYインジケータランプ

インジケータランプが点灯すると、車両が走行可能な状態であることを示します。

B. 左方向指示ランプ

左方向指示スイッチを作動させると、緑色で点滅し、方向指示の要求が解除されるまで続きます。

C. 右方向指示ランプ

右方向指示スイッチを作動させると、緑色で点滅し、方向指示の要求が解除されるまで続きます。

D. ハイビームインジケータランプ

前照灯のハイビームが点灯しているとき、このランプが点灯します。

E. システム警告ランプ

システムに故障が検出された場合、システム警告ランプが点灯します。具体的な故障内容については、[トラブルシューティング]第11.4ページを参照してください。

F. 低電量インジケータランプ/充電インジケータランプ

バッテリー残量が20%未満になると、低電量インジケータランプが点灯します。
バッテリー残量が5%未満になると、低電量インジケータランプが点滅します。
充電中は点滅しません。

メーター表示内容

メーター表示内容は、メーター上のAキーおよびBキーを長押しまたは短押しすることで設定できます。



5.1

走行距離表示



大/小走行距離の切り替え：

メーターに通電され、車速がゼロのときにAキーを短押しすると、総走行距離 **Trip** と区間走行距離 **ODO** の間を切り替えます。

最高速度および区間走行距離のリセット：
メーター通電後のセルフチェック完了時かつ車速がゼロのとき、区間走行距離モードでBキーを2秒以上長押しすると、最高速度と区間走行距離が同時にリセットされます。

速度
表示ユニット



減速比システム設定：

メーター未通電の状態ではBキーを押し続け、通電後に減速比のシンボルが点滅し始めたらずちにBキーを離すと、減速比の設定が可能です。

設定データ入力時：

- ・Aキーを短押しすると、数値が0.1ずつ減少し、最小値に達するとそれ以上は減少しません。
- ・Bキーを短押しすると、数値が0.1ずつ増加し、最大値に達するとそれ以上は増加しません。
- ・設定数値を完了した後、Bキーを25秒以上長押しすると保存が成功します。

注意
メーター表示速度が実際の車速より大きい場合は、減速比係数を大きく調整してください。逆の場合も同様です。

注意
減速比係数の設定はむやみに変更しないでください。（出荷時の減速比係数は1.0です）。

システム機能設定

システム機能表示



スピードメーターには英字とアラビア数字の組み合わせでシステム機能が表示されます。

車両出荷時のデフォルト表示は「P0」と「E2」です。

システム機能モード設定

車両に通電後、静止状態かつサイドスタンドが格納されている状態で、前/後ブレーキレバーを短く押しとメーターのREADYランプが点灯し、20秒以内はシステム機能モード設定状態となります。

システム機能モード設定状態では、メーターのスピードメーターに現在の機能が表示されます。（例：P0およびE2）。その後、前/後ブレーキレバーを短押し（約0.5秒）および長押し（約25秒）の組み合わせで操作することで、異なる機能を設定することができます。設定完了後、スピードメーターには新しい機能が表示されます（例：E3）。

5.2

設定時間を超えると、自動的にシステム機能モード設定状態が終了し、再度設定するためには車両を再び通電し、READY状態にする必要があります。

具体的に設定可能な機能は以下の通りです：

- ① エネルギー回生弱モード — 表示「E1」 操作：短押し2回+長押し1回
- ② エネルギー回生中モード — 表示「E2」 操作：短押し3回+長押し1回
- ③ エネルギー回生強モード — 表示「E3」 操作：短押し4回+長押し1回
- ④ エネルギー回生オフ — 表示「E0」 操作：短押し7回+長押し1回
- ⑤ サイドスタンド断電および転倒断電機能オフ — 表示「C1」 操作：短押し6回+長押し1回（再通電後はデフォルトでオン）
- ⑥ ブレーキ断電機能オフ — 表示「P0」 操作：短押し8回+長押し1回

⑦ ブレーキ断電機能オン — 表示「P1」 操作：短押し9回＋長押し1回

⑧ スロットルカーブ設定 — 車両出荷時のデフォルトは「F1（ノーマルモード）」です。短押し5回＋長押し1回で「F2（強化モード）」に設定できます。さらに同じ操作（短押し5回＋長押し1回）を繰り返すことで、「F1」と「F2」を循環して設定できます。

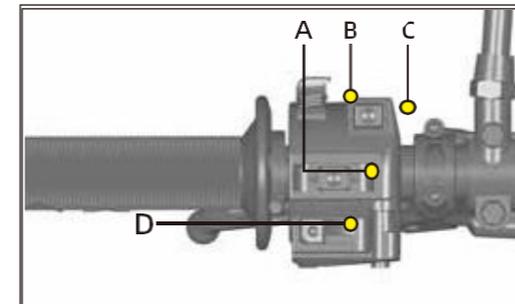
ハンドル操作部

A. ウィンカー・スイッチ
ウィンカースイッチのレバーを左または右に押し、対応する方向指示灯が連続点滅します。ウィンカーを消灯するには、スイッチを中央位置に戻してください。

B. 前照灯ハイ／ロービーム切替スイッチ
このスイッチをハイビームモードに切り替えると、ハイビームインジケータランプのみが点灯し、ロービームに切り替えるまで点灯し続けます。ロービームに切り替えるとハイビームランプは消灯します。

C. パワーモードスイッチ
説明および操作については、「機能紹介」6.2ページを参照してください。

D. ホーンボタン
メインスイッチおよび電源ロックがオンの位置にあるとき、ボタンを押すとホーンが鳴り、歩行者や周囲のドライバーに警告を発します。

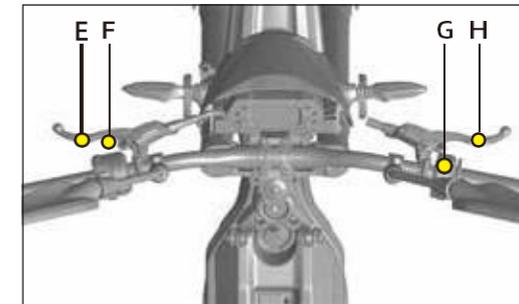


E. リアブレーキレバー
レバーを握ると、リアブレーキシステムを制御します。

F. ブレーキレバー調整ボルト
この調整ボルトは、ブレーキレバーとハンドルバーの間隔を調整するためのものです。2mmの六角レンチを使用してブレーキレバーの位置を調整し、ユーザーの操作習慣により適した状態にすることができます。

G. アクセルグリップ
アクセルグリップは、車速を制御するために使用されます。

H. フロントブレーキレバー
レバーを握ると、フロントブレーキシステムを制御します。



機能紹介

パワーモードスイッチ

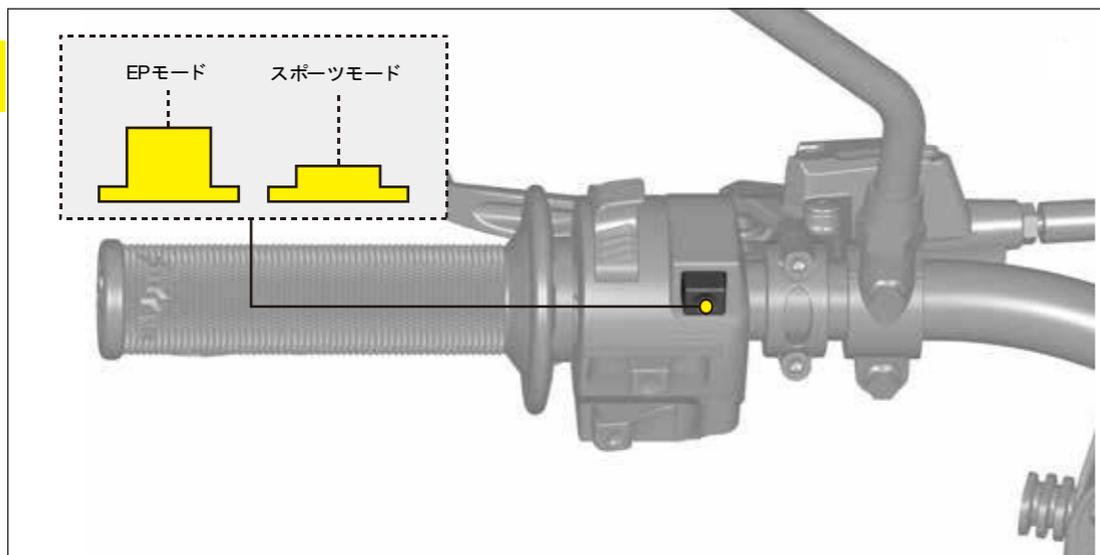
SPORTモード:

スイッチをこのモードに切り替えると、車両は強い加速力を発揮し、サーキットや林道など未舗装路での使用に適しています。車両に十分慣れてから使用することを推奨します。

EPモード:

スイッチをこのモードに切り替えると、車両の出力や加速性能がより穏やかになり、車両の操作にまだ慣れていない場合に適しています。

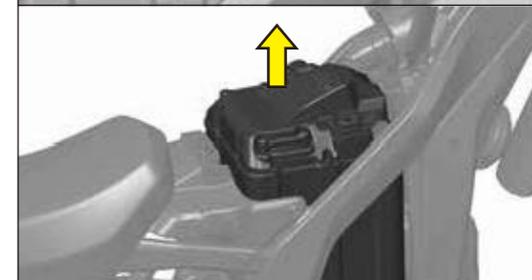
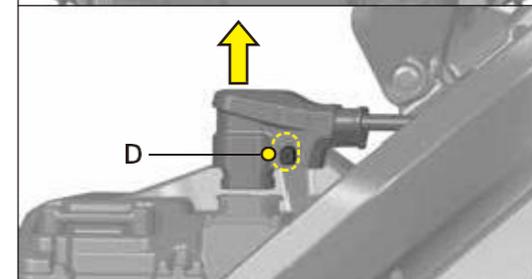
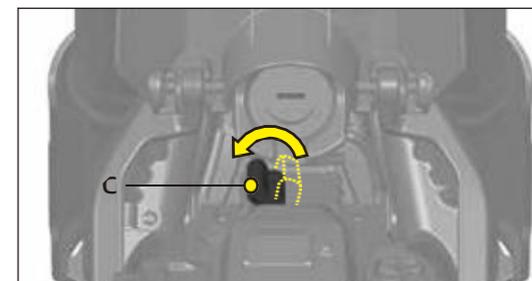
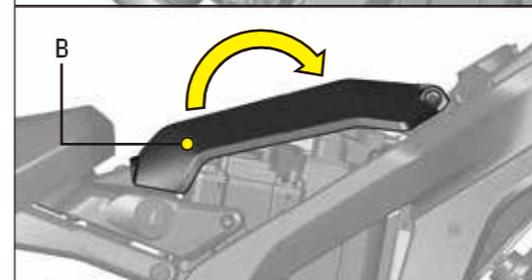
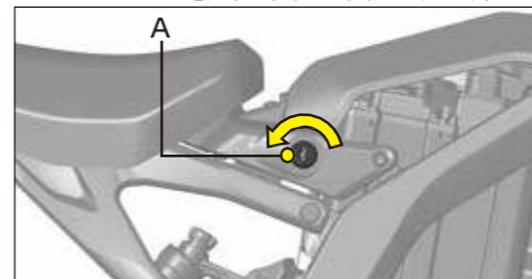
6.2



機能紹介

バッテリーパックの取り外し

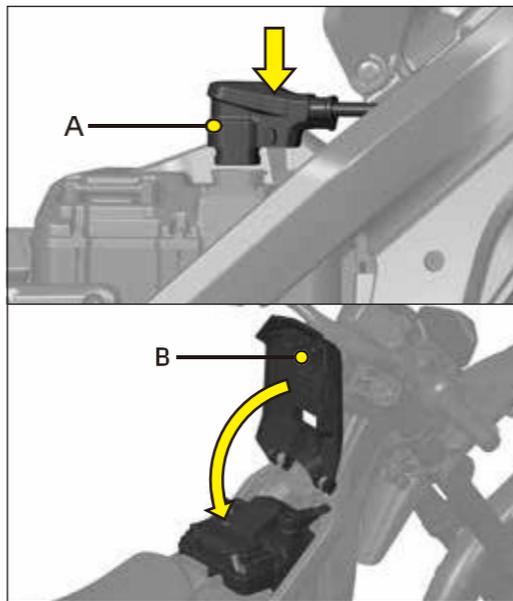
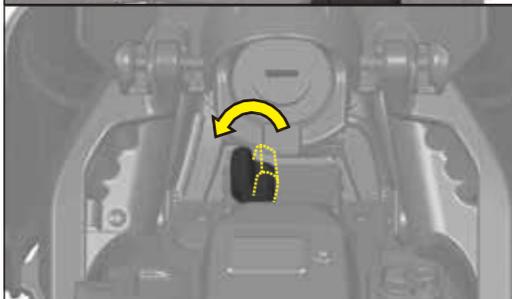
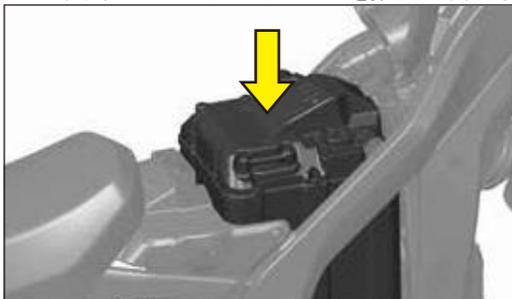
1. キーをバッテリーコンパートメントロックAに挿入反時計回りに回してロックを解除します。
2. バッテリーコンパートメントカバーBを開ける
3. メイン電源スイッチCをオフにします。
4. ボタンDを押したまま、矢印の方向に放電プラグを取り外します。
5. バッテリーパックを矢印の方向（上方向）に外します。



6.3

バッテリーパックの取り付け

1. バッテリーパックをバッテリーコンパートメントに設置してください。
2. メイン電源スイッチがOFF位置にあることを確認してください。
3. 放電プラグAをバッテリーソケットに接続してください。
4. バッテリーコンパートメントカバーBを押してロックします。



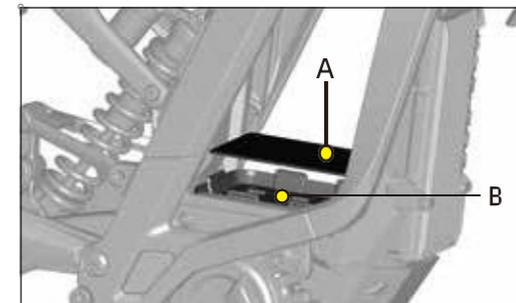
警告

取り外しおよび取り付けの前にライトビーのバッテリーパックを取り外す際は、キースイッチとメイン電源スイッチをOFF位置に設定してください。

バッテリーボトムバッファの取り付け

バッテリーパックを取り外します。説明と操作については、6.2ページの「バッテリーパックの取り外し」を参照してください。

バッテリーボトムバッファAの保護フィルムをはがし、バッテリー底面位置決めブロックBに貼り付けます。



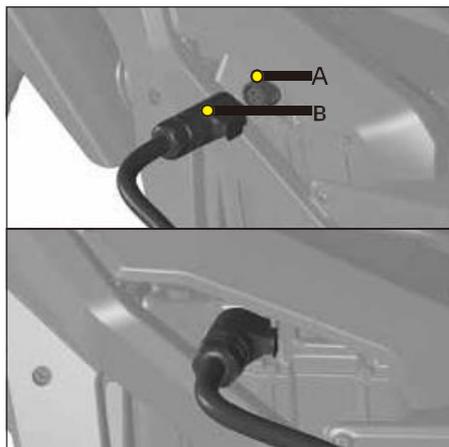
注意

バッテリーパックが明らかに緩んでいる場合
バッテリーコンパートメント内では、異常なノイズの継続やオートバイの損傷を防ぐため、バッファを追加することを推奨します。

//充電器//

1. 充電ポートの方向：充電ポートBは誤操作防止機能を備えており、その隙間はバッテリー充電ポートAとの接続に対応しています。
2. 充電操作手順：
 - ① 充電器出力プラグをバッテリーソケットに接続す
 - ② 充電器入力プラグを電源コンセントに接続；
 - ③ 主電源投入後、充電器は自己診断状態に入ります。自己診断に合格すると、通常の充電状態に移行します。

6.6



//走行前点検

ライトビー電動バイクを操作する前に、以下の項目を確認し、バイクが正常な作動状態にあることを確認してください。

ハンドル操作

ハンドルバー、アヘッドステム、ヘッドセットの締め付け状態を確認してください。必要に応じて調整してください。詳細は10.3ページの「トルク管理」を参照してください。

バッテリーパック

バッテリーパックに表示されるバッテリー残量が、走行をサポートするのに十分であることを確認してください。走行距離は実際の使用環境によって異なるため、表示されるバッテリー残量はあくまで目安です。

チェーン

チェーンの張り状態を確認してください。必要に応じて調整または交換してください。詳細は10.12ページの「チェーン」を参照してください。

ブレーキシステム

ブレーキレバーを引いてバイクを押しながら、前輪と後輪が完全にロックできるか確認してください。ブレーキ操作により車輪を完全にロックする必要があります。

スロットル

キースイッチがOFFの位置にあるとき、スロットルを捻って離し、スロットルがスムーズに回転し、自由にアイドル位置に戻るかどうかを確認する。

7.1

タイヤ

タイヤの空気圧と溝の深さを確認してください。

冷間時のタイヤ空気圧を確認し、適正な空気圧を維持してください。タイヤの損傷や異常摩耗がないか点検してください。10.11ページに記載の通り、トレッドの深さがタイヤの警告マークに達した場合は、直ちにタイヤを交換してください。

警告

不適切なタイヤ空気圧は、タイヤ故障の一般的な原因であり

タイヤ故障を引き起こす原因であり、深刻なタイヤ破裂、トレッド剥離、電動バイクの制御不能を招き、重大な人身事故につながる可能性があります。タイヤを定期的に点検し、適切な状態を保ってください。

電気系統

ヘッドライトとテールライトが正常に作動するか確認してください。

サイドスタンドスイッチとチルトスイッチが正常に作動するか確認してください。

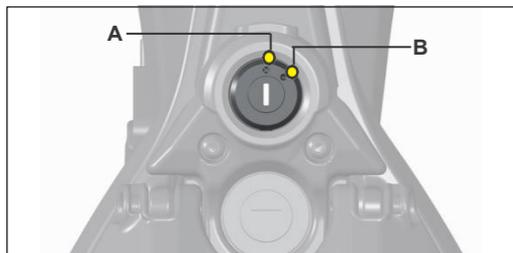


キー/スイッチ

USB充電ポートホルダーに設置された2ポジションスイッチです。機能は以下の通りです：

OFF A

ON B



OFF 位置

この位置は、ライトビー電動バイクの電源をオフにし、すべての電気システムを停止します。この位置ではキーを取り外すこともできます。

ON 位置

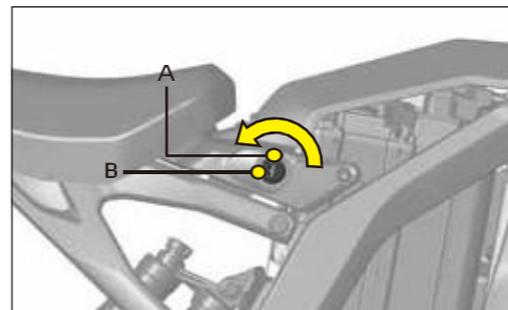
この位置はライトビー電動バイクの電源を入れるためのものです。この位置に切り替えると以下の変化が生じます：

ダッシュボード点灯。
ヘッドライト点灯。

バッテリー/コンパートメントロック

これはフレーム本体の右側に位置する二位置自動復帰スイッチです。機能は以下の通りです：

1. ロック A
2. ロック解除 B

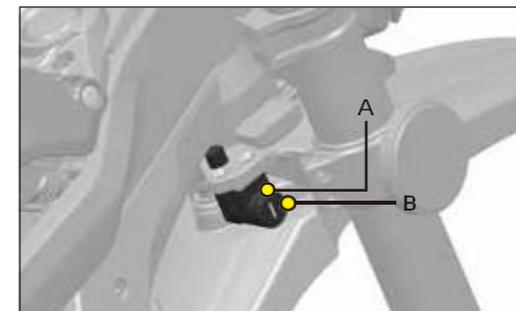


バッテリーコンパートメントロックの操作方法：

1. ロック位置にある場合、キーを電池コンパートメントロックに挿入し、反時計回りに回してキーをロック位置からアンロック位置に切り替えます。キーがアンロック位置にあると、電池コンパートメントカバーを開けることができます。
2. キーを離すと、キーは自動的に解除位置からロック位置に戻り、ロック位置でキーを抜くことができます。

ハンドルロック

これは2位置スイッチで、ステアリングコラム下の接続プレート後方にあります。スイッチの機能位置は以下の通りです：
解除 A
施錠 B



起動と操作

軽蜂電動オートバイの運転

始動手順

1. イグニッションスイッチを始動位置に回します。
2. バッテリーに残量表示があることを確認します。
3. 周囲に走行を妨げる障害物や通行車両がないことを確認した後、サイドスタンドを格納し、前/後ブレーキレバーを短く握ります。メーター上のREADYランプが点灯したら、アクセルグリップを回して通常走行が可能です。

7.6

注意

機能の予備ボタンが設定されています。ブレーキレバーの操作でREADY走行ができない場合、3秒以内にEPとSPORTモードを3回以上素早く切り替える操作を行うことで、READYを起動できます。

ブレーキ操作

ブレーキレバーはハンドルの両側に配置されています。右側のブレーキレバーを握るとフロントブレーキを制御します。左側のブレーキレバーを握るとリアブレーキを制御します。

警告

ブレーキを段階的に使用し、操作力を適切にコントロールすることで、軽蜂電動オートバイは徐々に減速・停止し、車輪がロックするのを防ぐことができます。軽蜂電動オートバイはパワーの強い製品であるため、安全な緊急停止操作を習熟するよう、繰り返し練習することを強くお勧めします。

駐車

アクセルをゼロ位置に戻します。サイドスタンドを下ろし、車両が転倒しないようにします。イグニッションスイッチをオフ位置に回し、キーを抜き取り、適切に保管します。

注意

毎回の走行後は、バッテリー残量を確認し、速やかにバッテリーを充電してください。

起動と操作

フロントフォーク調整

注意

減衰調整を限界まで調整する際は最大値より一つ戻すようにしてください。

プリロード

左フロントフォーク上部のノブAを回してプリロードを調整します。「+」記号はプリロードを増やすことを示し、「-」記号はプリロードを減らすことを示します。

プリロードを増やすには、調整ノブAを「+」方向へ時計回りに回します。

方向にノブAを時計回りに回すとプリロードが増加します。

調整ノブAを「-」方向（反時計回り）に回すと、プリロードが減少します。

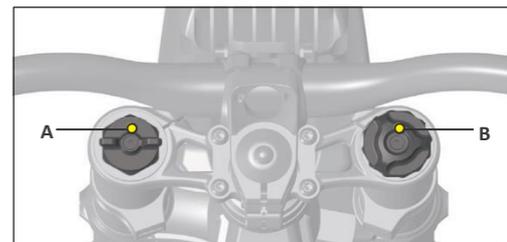
リバウンド減衰

右フロントフォーク上部のノブBを回してリバウンド減衰力を調整します。「+」記号はリバウンド減衰力を増加させ、「-」記号はリバウンド減衰力を減少させます。

調整ノブBを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブBを反時計回りの「-」方向に回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。

7.7

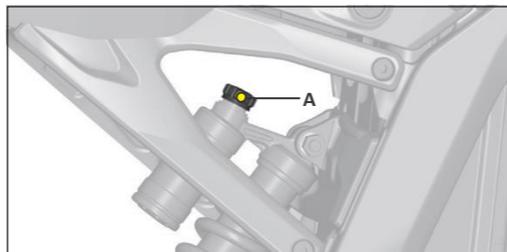


始動と操作

リアショックの調整

注意

ノブを調整する際は、最大値に達した後に1スペース分戻すようにしてください。



圧縮減衰

7.8

リアショックの右上にあるノブAを回して圧縮減衰力を調整します。「+」記号は圧縮減衰力を増加させ、「-」記号は圧縮減衰力を減少させます。

圧縮減衰力を上げるには、調整ノブAを「+」方向へ時計回りに回します。

方向にノブAを時計回りに回すと、圧縮減衰が増加し調整ノブAを「-」方向に反時計回りに回すと、圧縮減衰力が減少します。

注記

リアショックの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

始動と操作

注意

リアショックの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

プリロード

調整レンチで調整リングAを回します。

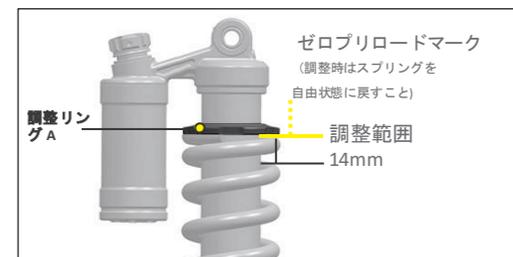
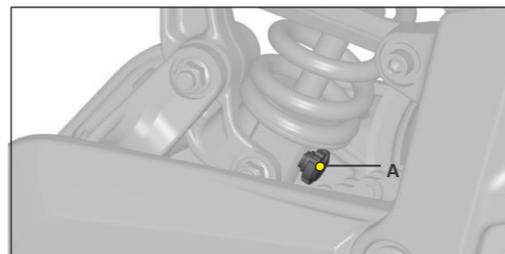
調整リングAを反時計回りに回すとスプリングプリロードが減少し、調整リングAを時計回りに回すとスプリングプリロードが増加します。

リバウンド減衰

リアショックの右下にあるノブAを回して、リバウンド減衰力を調整します。「+」記号はリバウンド減衰力を増加させ、「-」記号はリバウンド減衰力を減少させます。

調整ノブAを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブAを反時計回りの「-」方向に回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。



7.9

注意

プリロードの調整は推奨されません
14mmを超える場合。過度のプリロードはリア
ショックの有効ストロークに影響します。減衰
力とプリロードは、路面状況やライダーの体重
に応じて適切に調整してください。減衰力を最
大値まで調整することは避けてください。リア
ショックの故障や重大な負傷を引き起こす可能
性があります。

7.10

注記

リアショックの外観はブランドによって異なる
場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

バッテリーパック

ライトビー電動バイクは高性能・高定格のリチウムイ
オンバッテリーを採用しており、使用可能環境温度範
囲は-15~40°C (5~104°F) です。最適な動作条件は周囲
温度10~30°C (50~86°F) です。極端な低温または高温
の環境温度は、バッテリーパックの性能と寿命に影
響を与えます。許容範囲を超える温度でのバッテリ
ーパックの使用は避け、0°C (32°F) 未満での充電は行
わないでください。

バッテリーパックの充電時間は、周囲温度25°C (77°F
) で約3時間です。

周囲温度が低すぎると、バッテリーパックの性能に
影響が出ます。走行距離が若干減少するのは正常な
現象であり、温度が動作条件まで回復するとバッテリ
ーパックの性能は自動的に回復します。

長期間使用しない場合は、バッテリー残量を40%~50%
に充電し、毎月残量を確認してください。バッテリー
パックを充電してください。

バッテリー残量が20%を下回った場合、バッテリーパ
ックの過放電を防止し、性能への影響や損傷を防ぐ
ため。

バッテリーパックを高圧水銃で洗浄したり、水に浸
漬したりすることは厳禁です。バイク全体の浸水深
は車輪の中心を超えないようにしてください。バッ
テリーパックへの浸水、内部短絡、およびバッテリー
パックの永久的な故障を引き起こす可能性があります。

バッテリーパックに水が浸入した場合、またはその他
の問題が生じた場合は、バッテリーパックの充電や
使用を厳禁します。バッテリーパックの発火、焼損、
爆発を引き起こす恐れがあります。

バッテリーパックは防水構造で、内部に高電圧回路
が密封されています。外装の損傷は防水性能を低下せ
せませす。防水構造が損傷した場合は、アフターサー
ビスまでご連絡ください。潜在的な損傷や重大な危険
を避けるため、ユーザーによるバッテリーパックの分解
は厳禁です。

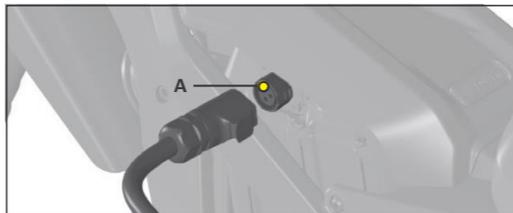
8.1

電力システム管理

電源供給と充電

充電前に、グリッド電圧が充電器がサポートする入力電圧範囲内にあるかどうかを確認してください。

米国および日本向け：100~120VAC、45~65Hz;



充電時の注意事項

充電時は、オートバイ／バッテリーパックを安全な場所に置き、子供の手の届かない場所に置いてください。
充電直後のバッテリーパックの使用は避けてください。充電完了後は、使用前に充電器を外してください。使用前に10分以上放置することを推奨します。
充電中は充電器上のいかなる物も覆わないでください。充電器は屋内専用です。乾燥した換気の良い環境でご使用ください。
充電完了後はバッテリーパックの充電ポートキャップを必ずお付けください。

8.2 充電前に、AC電源ネットワークのコンセント負荷電力が充電器の電力要件を満たしているか確認してください（1000W以上を推奨）

充電時は、まず充電器の出力プラグをバッテリーパックに接続し、その後充電器の入力プラグをAC電源に接続してください。

充電時は、充電器の出力プラグをオートバイ左側にあるバッテリー充電ポートAに接続してください。

バッテリーパックが完全に充電されると、充電器は自動的に電源が切れます。充電器の電源とバッテリーに接続された充電プラグを必ず外してください。

電力システム管理

警告

バッテリーパックは常に換気の良い環境で充電し、可燃物から離して保管してください。雨天時の充電は避けてください。

バッテリーパックは専用充電器でのみ充電可能です。

純正充電器またはメーカー指定の専用充電器を使用してください。非純正の充電器やアクセサリの使用は、バッテリーパックの損傷、故障、さらには危険を引き起こす可能性があります。

警告

バッテリーパックは0°C (32°F) 以下で充電しないでください。バッテリーパックの損傷の可能性あります。バッテリーパックの温度が0°C (32°F) 以上に戻った後、再度充電できます。バッテリーパック内部の最大許容充電温度は 60°C (140°F) です。

バッテリー内部の温度が55°C (131 °F) を超えると充電できません。自然冷却により温度が低下すると充電が開始されます。

激しい走行後はバッテリーパックが急速に放電し発熱します。周囲温度が低くても、バッテリーパック内部温度は高い可能性があります。

バッテリーパックの温度低下は自然放置によるもののみとなります。

バッテリーパックを放置して、常温に戻してください。他の方法でバッテリーパックの温度を急激に上げたり下げたりしないでください。高出力動作や高温動作直後は、バッテリーパックをすぐに充電できない場合があります。バッテリーパックが30分以上冷却された後に充電を開始してください。バッテリー管理ポリシーにより、内部温度が高すぎる場合、バッテリー寿命を保護するため充電は許可されません。

重大な警告

以下の状況に該当する場合、充電を直ちに中止し、電源をすぐに切断してください。電動バイクは使用せず、Surrónのアフターサービスに連絡するか、できるだけ早く整備拠点へお持ちください

- ・バッテリーパックの筐体が損傷している場合
- ・充電中に異臭がする場合
- ・バッテリーパックまたは充電器が過熱した場合
- ・バッテリーパックから煙または火災が発生した場合。

万一、こうした症状が発生した場合は、さらなる被害を防ぐため直ちにバッテリーパックを水に浸してください。

注意

2025年モデルLight Beeバッテリーパックの低消費電力保護機能の継続的な最適化により、バッテリーパックが6回充電された場合、または車両の回路ブレーカーがOFF位置にある場合、バッテリーパックは休眠保護状態を維持することがあります。充電を開始するには、バッテリーLCD画面横にあるボタンを押してバッテリーパックを起動する必要があります。

電力システム

ライトビー電動バイクの動力システムは主にモーターとコントローラーで構成されています。

警告

ユーザーによるモーターの無断分解は厳禁です。

モーターを分解しないでください。分解した場合、位置センサーの誤作動や対応するシールの損傷を引き起こし、モーター故障の原因となる可能性があります、いかなる場合でも保証の対象外となります。

コントローラー及びそのケーブルを分解することは固く禁じます。感電や火傷などの重大な結果を招く恐れがあります。コントローラーは高電圧精密電子部品であり、ケーブルは高電流を流します。誤った配線接続やネジのトルク不足は、コントローラーや電源システムに損傷を与える可能性があります。

警告

Light Beeの動力システムは、Surrónが認定した訓練を受けた専門技術者による修理または交換が必要です。ユーザーによる動力システムの分解や改造は禁止されています。動力システムを水に浸すことは禁止されており、そうした場合、損傷を引き起こします。

電力ケーブルは運転中に高電流が流れるため、ケーブルが正しく確実に接続されていることを確認し、ケーブル固定ボルトのトルクと締付け状態が要求を満たしていることを確認し、ケーブル絶縁も要求を満たしていることを確認してください。電力システムの構成部品やケーブルの分解は厳禁です。

メンテナンス

メンテナンス項目

以下の表は、ブレーキフルードの交換時期を示しています。

交換するブレーキフルードを示します。

部品	タイプ	容量
ブレーキフルード	ミネラルオイル	

メンテナンス記録

10.2ページの定期メンテナンス表に従ってください。各定期点検またはメンテナンス実施後、本マニュアルのメンテナンス記録に必要事項をすべて記録してください。

定期点検

ライトビーは、安全かつ信頼性の高い性能を確保するため、定められたスケジュールに従ってメンテナンスを行う必要があります。必要なメンテナンススケジュールでは、電動バイクの点検整備の頻度と、注意が必要な項目が明記されています。作業の実施に不安がある場合や支援が必要な場合は、お近くのサーロン正規販売店にご連絡の上、バイクのメンテナンスをご依頼ください。保証は無効となります。

電気モーターサイクルの不適切なメンテナンスまたは修理によって損傷、故障、または性能上の問題が生じた場合。

本定期整備表のサービス間隔は未舗装路面での走行条件に基づいています。湿潤または粉塵の多い地域での走行が頻繁な場合、一部の項目はより頻繁な整備が必要となります。個々のニーズや使用状況に応じた推奨事項については、最寄りの販売店にご相談ください。走行距離に関わらず、ライトビー電動バイクは少なくとも6ヶ月に1回の整備を行うことを推奨します。

注意

すべてのネジとボルトの締め付けトルクをトルクを確認することをお勧めします。

メンテナンス

定期メンテナンス表

ライトビー電動バイクを最適な作動状態に保つため、本表に従い定期的なメンテナンスを実施してください。初期メンテナンスは極めて重要であり、決して怠ってはなりません。時間と走行距離の両方が記載されている場合は、最初に表示される間隔に従ってください。

ライトビー電動バイク定期メンテナンス表							
点検項目	毎回の走行後	100km	500km	2000km	5000km	10000km/12ヶ月	20000km/24ヶ月
タイヤ（摩耗）	●/↘						☺
ブレーキパッド摩耗		●	●	●	●/☺	●/☺	☺
ブレーキディスク摩耗			●	●	●/☺	●/☺	☺
チェーン	●/↘	●/↘	●/↘	●/↘	●/☺		☺
スプロケット（フロント&リア）				●	●/☺		☺
プライマリベルト&プライマリドライブプーリー				●/↘			☺
バッテリーバック容量	●						
フロントフォーク&リアショック	●						↘
ブレーキフルード		●		●	●	☺	☺
ベアリング				●	●		
ライト	●	↘					
ホイールスポーク	●				↘	↘	↘
スイングアーム保護ブロック				●	●	●/☺	●/☺
ティルトスイッチ				●	●	●	●
サイドスタンドスイッチ	●			●/↘	●/↘	●/↘	●/↘
ネジトルク							

● 点検 ☺ 交換 ↘ 点検

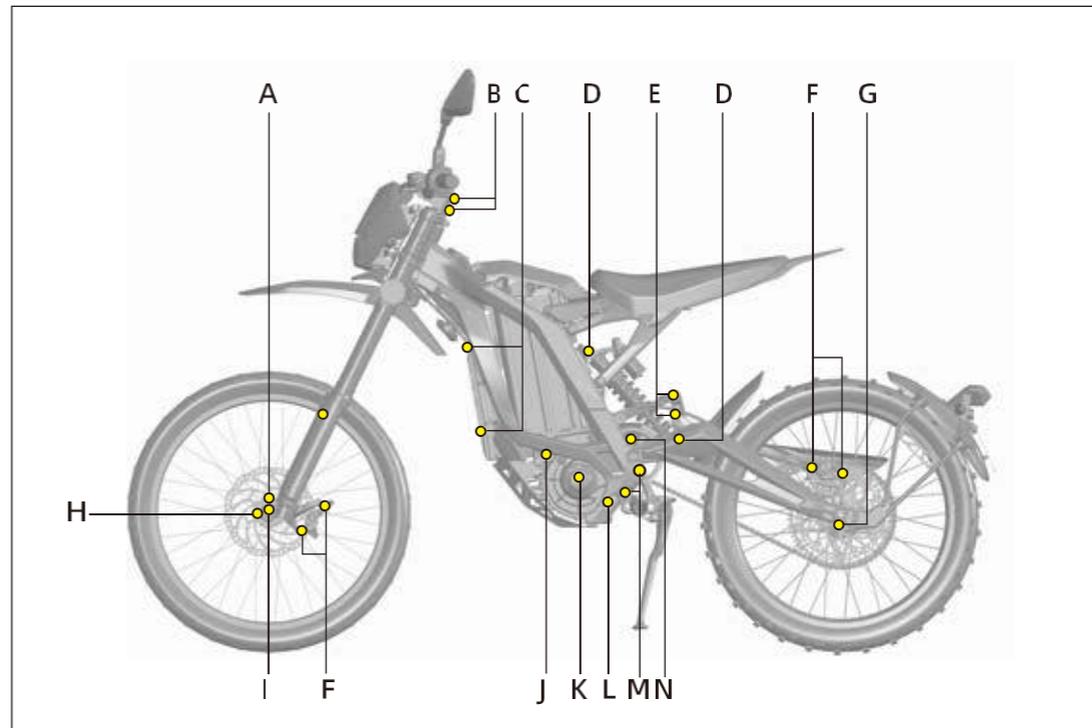
注意

サーキットや林道で走行する前には、毎回必ずボルトの締付トルクを確認することをお勧めします。

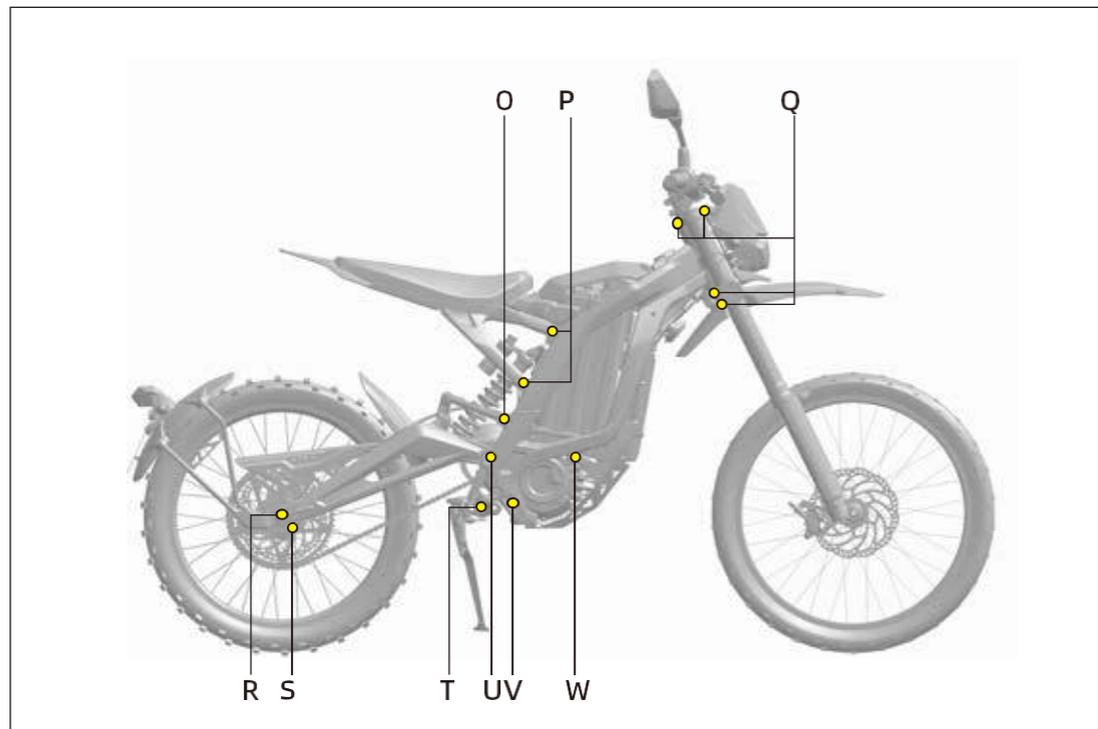
10.3

トルク管理

ライトビー電動バイクの以下の締結部品を定期的に点検し、指定トルクで締め付けてください。



10.4



-FETCH LIGHT-飞起来-

項目	トルク	仕様	注記
A	フロントディスク トルクス皿 頭ネジ M5*10	トルクス皿頭ネジ M5*10	/
B	ハンドルバー アヘッドステム	5-6N.m	六角穴付きボルト M6*20
C	コントローラー取付ネジ	8-10N.m	六角穴付きボルト M6*16
D	リアショック上部&下部取付ネジ	20-25N.m	六角穴付き半ねじ L50-M8
E	リアショックリンケージアームア クスルフロント&リアブレーキキ ャリバー取付ネジ	20-25N· m	六角穴付きボルト (半ねじ) L50-M8
F	フロント&リアブレーキキャリバー取付ネジ	12N.m	六角穴付きボルト M6*18
G	リアブレーキディスク取付ボルト	トルク10- 12N.m	トルクス皿頭ネジ M6*13
H	フロントアクスルピンチボルト	12N.m	六角穴付き
I	フロントホイールアクスル	20-25N· m	T字ボルト
J	モーター左上部取付ボルト	20-25N.m	六角穴付きボルト M8*40
K	ブライマリアーリー固定ボルト	40-50N.m	フランジ付き六角ナット M12*1.25
L	モーター左下取付ボルト	20-25N.m	六角穴付きボルト M8*45
M	左右フットペグ取付ネジ	25-30N.m	六角穴付きボルト M8*25
N	ブライマリドライブ後部ブリー取付ネジ	10-12N.m	六角穴付きボルト M6*16
O	連結取付ネジ	20-25N· m	六角穴付きボルト M8*35
P	サブフレーム	15-20N.m	六角穴付きボルト M8*20
Q	ステアリングステム上部&下部接続プレート	8-10N.m	六角穴付き
R	後輪車軸	55-60N· m	T字シャフトボルト M12*1.25*198
S	リアスプロケット取付ネジ	20-25N.m	六角穴付きボルト M8*16
T	フットペグ左右取付ボルト	40-45N.m	フランジ付き六角ナット M10*1.25
U	スイングアームピボットシャフト	30-35N.m	M10*1.0
V	モーター右下取付ボルト	20-25N· m	六角穴付きボルト M8*25
W	モーター右上取り付けボルト	20-25N· m	六角穴付きボルト M8*25

-FETCH LIGHT-飞起来-

ネジロック剤が必要、KAFUTERK-0609 または同等品

バッテリーパック

注意

1. バッテリーはリチウムイオンバッテリーシステムです。メンテナンスは不要ですが、定期的な充電が必要です。長期間使用しない場合は、保管前にバッテリーパックの充電量を約40%~50%に保ってください。毎月残量を確認する必要があります。バッテリーパックの充電量が20%を下回った場合は、過放電による性能低下や損傷を防ぐため、再充電を行ってください。
2. バッテリーパックは低温・高温環境を避けて保管してください。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。長期間使用しない場合は、周囲温度10°C~30°C(50°F~86°F)の環境で保管してください。3. 二輪車整備の修理または分解の資格を有するSurrön正規販売店にて修理・メンテナンスを行ってください
4. バッテリーパックの廃棄は、日本の法律に従ってください。使用済みのバッテリーパックは、サーロン・ジャパン（株式会社コハクジャパン）までご連絡のほどよろしくお願いたします。

ブレーキシステム

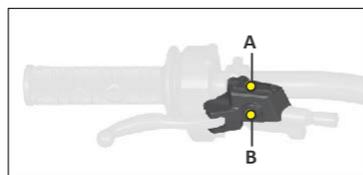
このセクションでは、ライトビー電動バイクのブレーキシステムのメンテナンス方法について説明します。ブレーキパッド（フロントとリアのブレーキパッドは共通です）の交換方法、およびフロントとリアのブレーキシステムにおける推奨ブレーキフルードの種類と液面レベルについて記載しています。

ブレーキシステムのエア抜き

ユーザーはブレーキシステムからエア抜きを行う必要がありますが、これは指定の正規販売店でのみ実施可能です。

ブレーキフルードレベルチェック

ブレーキフルードリザーバータンク



ブレーキフルードの液面は点検窓Bから確認できます。液面が点検窓Bの1/3より低い場合は、ブレーキフルードを補充してください。ブレーキフルードリザーバーを開ける前に、リザーバーキャップAのほこりや汚れをすべて拭き取り、ブレーキフルードの汚染を防いでください。

ブレーキフルードの液面が低い場合は、ブレーキパッドの摩耗または油圧システムの漏れを示している可能性があります。ブレーキパッドの摩耗状態と油圧システムの漏れを確認してください。新しい鉱物系ブレーキフルードは密封容器に入ったもののみを使用してください。ブレーキフルードの補充手順は以下の通りです：

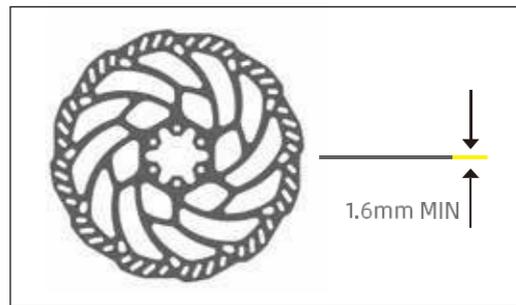
1. ブレーキフルードリザーバーのキャップにある2本のネジを緩め、ブレーキフルードリザーバーのキャップとリザーバーガasketを取り外します。
2. 新しい鉱物油ブレーキフルードを補充します。
3. キャップのシールを確認し、摩耗や損傷がなく、位置が正しいことを確認してください。
4. リザーバーキャップのネジを取り付け（トルク：2.5N・m）。

注意

塗装面にブレーキフルードを飛散させないでください。塗装面を傷つける恐れがあるため、表面を拭かないでください。プラスチック部品にブレーキフルードをこぼすと腐食の原因となります。リザーバーキャップを外す前に、必ずリザーバーの下に油吸収タオルを敷いてください。

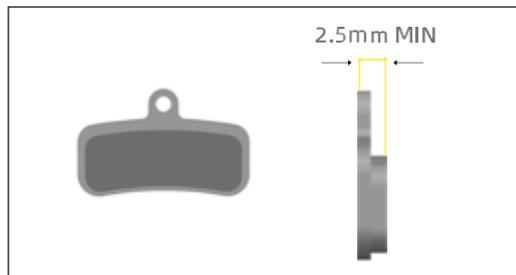
警告

液面レベルを確認する前に、ライトビー電動バイクは平坦な場所で直立状態にし、ハンドルバーは中央位置に保つ必要があります。これにより、リザーバータンクが水平位置にあることを保証します。新しいブレーキフルードを追加する際、ブレーキフルードが溢れた場合は、他の部品の汚染を防ぐため直ちに除去してください。



ブレーキディスクの厚さは定期的に点検する必要があります。最小厚さは1.6mmです。

ブレーキパッド点検



ブレーキパッドは定期点検表に指定された間隔で点検する必要があります。詳細は10.2ページを参照してください。ブレーキキャリパー側からブレーキパッドの残量を目視で確認してください。

フロントまたはリアのブレーキパッドの厚さが2.5mm未満の場合は、ブレーキパッドを交換してください。ブレーキパッドが損傷している場合は、損傷の程度にかかわらず、両方のブレーキパッドを直ちに交換してください。

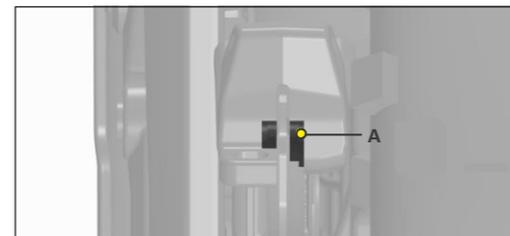
ブレーキパッドの交換

新しいフロントおよびリアブレーキパッドAまたはブレーキディスクを交換した後は、ブレーキディスクとブレーキパッドが適合し、互いに調和するよう、点検と慣らし運転を行うことを推奨します。適切な慣らし運転により、制動感が向上し、制動時の異音を低減または解消できます。

ガスバランシングシステム

1. ショックアブソーバーの表面は、特にメインチューブ表面に付着した泥や砂について、各走行直後に清掃することを推奨します。高圧洗浄機で洗浄する際は、防塵シールAおよびBに向けて上方向への洗浄を厳禁します。これにより泥や砂がシール内部に流入し、漏れの原因となります。
2. 中性洗剤と柔らかい綿布のみを使用して清掃してください。腐食性溶剤は防塵オイルシールを損傷する恐れがあります。
3. 洗浄後、メインチューブの表面に潤滑グリースを塗布し、表面全体を十分に潤滑することを推奨します。

フロント&リアブレーキパッド

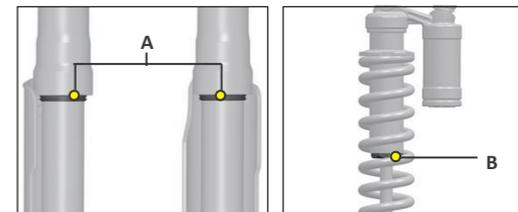


注意

ブレーキパッドは必ず対で交換してください

警告

新しいブレーキシステムまたは新しいブレーキパッドを使用する場合、初期の制動力が弱い場合があります。ブレーキシステムが正常な制動力を発揮できるよう、低速走行でブレーキパッドとブレーキディスクの慣らし運転を行ってください。



警告

ショックアブソーバーには高圧ガスまたは液体が含まれている。

ガスまたは液体を含んでいます。

ショックアブソーバーの改造や分解を試みないでください。

走行後はショックアブソーバー及びガスポンベが高温になっている場合があります。火傷の恐れがありますので、直接触れないでください。ショックアブソーバーの不適切な操作は、損傷、爆発、および重大な人身事故を引き起こす可能性があります。

メンテナンスについては、10.2ページの定期メンテナンス表を参照してください。調整については、7.7ページおよび7.9ページを参照してください。

ホイールとタイヤ

ホイールとタイヤに以下の不具合がないか確認してください：

リムの変形またはひび割れ；

リムへの衝撃痕；スポークの

緩みまたは変形；

トレッド部またはサイドウォール部の切り傷、ひび割れ、貫通損傷、トレッドブロック欠損

タイヤの膨らみ；

タイヤトレッドの偏摩耗

タイヤ取り付けラインの高さが不均一。

上記のいずれかの状態を確認した場合は、直ちにホイールまたはタイヤを交換してください。

警告

不適正なタイヤ空気圧、タイヤ故障の一般的な原因です。長期間にわたる不適切なタイヤの空気圧はタイヤ損傷、トレッド剥離、さらにはオートバイの制御不能を引き起こし、重大な人身事故につながる可能性があります。

警告

走行前には必ずタイヤ空気圧を確認し、適切な空気圧に調整してください。タイヤが冷えている状態で、正確な空気圧計を使用してタイヤの空気圧を確認してください。タイヤの空気圧が低すぎると、外側のタイヤの転がり抵抗が増加し、チューブがずれる可能性もあります。

標準タイヤ空気圧表

タイプ	フロント	リア
オフロード	225kPa	225kPa

注記

オフロードタイヤの場合、トラックやトレイル走行時には、それに応じてタイヤ空気圧を下げることをお勧めします。

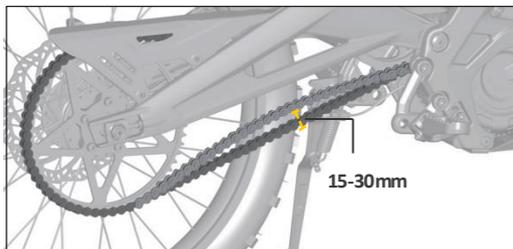
チェーン

チェーンの点検およびメンテナンスについては、10.2ページの定期メンテナンス表を参照してください。

- チェーンとスプロケットを清潔に保ってください。
- チェーンの摩耗、張力、潤滑状態を確認してください。
 - キースイッチからキーを抜いた後、メイン電源スイッチをオフにし、リフトスタンドで車体を支え、後輪を浮かせた状態にします。チェーンを上下に動かし、振幅が推奨範囲（15～30mm）内にあるか確認してください。

(2) 調整時は、まず後輪のアクスルナットを緩め、その後左右の調整ボルトを調整してチェーンの張りを推奨範囲内に収める。

(3) チェーンには適量のチェーンオイルまたはチェーングリスを塗布してください。



注意

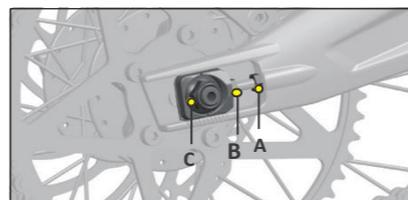
1. チェーンが上下に揺れるとき推奨範囲を超えると、スイングアーム保護ゴムを摩耗させます。速やかに15mmに調整してください。
2. 調整後、左右のチェーンアジャスターのマークはスイングアーム上のマークに対して対称になるようにしてください。

注意

チェーンの張りを調整する際は、両側の調整ボルトを均等に調整してください。

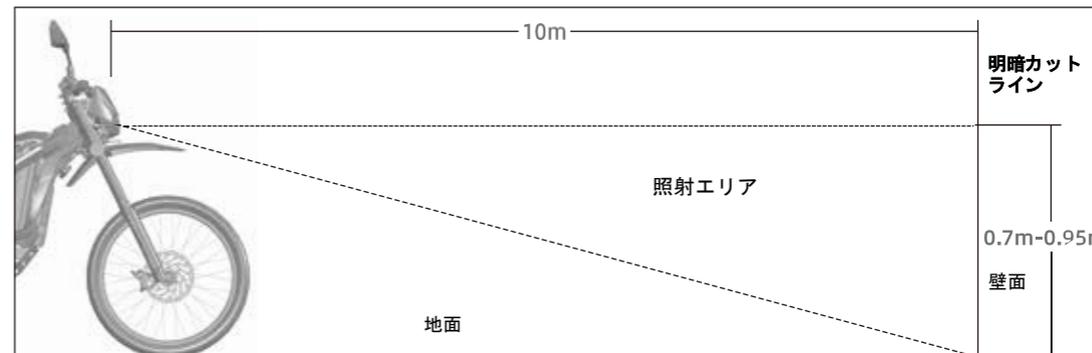
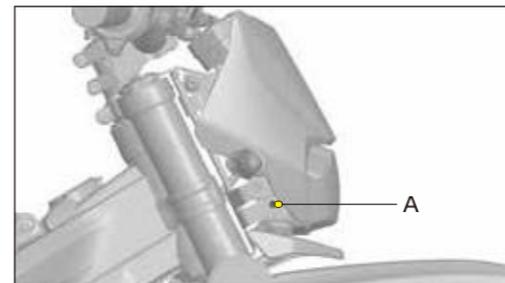
チェーン調整手順

- 1 キースイッチからキーを取り外し、メイン電源スイッチをオフにした後、リフトスタンドで車体を支え、後輪が浮いた状態にします。
- 2 後輪車軸ナットCを緩めます。
- 3 左右の調整ボルトBのロックナットAを緩めるボルトBのロックナットAを緩める。
- 4 チェーンが規定範囲内に調整されるまで、左右の調整ボルトBを均等に調整します。
- 5 リアアクスルナットCを締め付けます。
- 6 左右のロックナットAを締め付けて固定する調整ボルトBの位置。
- 7 バイクの試乗を行ってください。
- 8 試乗後、チェーンが正しく調整されているか再度確認し、必要に応じて再調整してください。



前照灯の調整

前照灯の角度は定期的に正しいかどうかを点検してください。車体の角度を変更した場合は必ず再調整が必要です。車体の角度が変わると、前照灯の角度に影響を及ぼすためです。

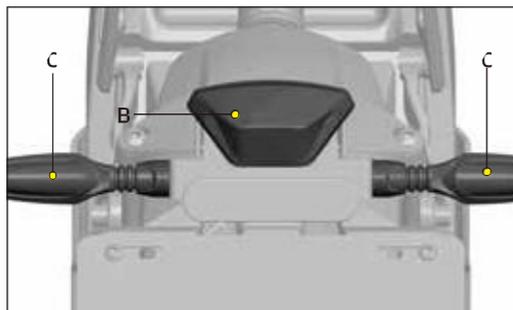
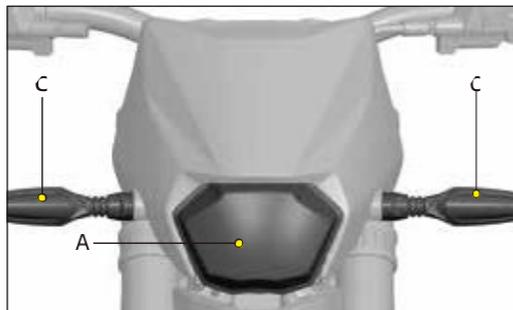


前照灯を調整する前に、サスペンションおよびタイヤの空気圧を正しく調整しておく必要があります。前照灯の照射角度は垂直方向に調整可能であり、照射角度が不適切な場合、光束が近すぎたり遠すぎたりしてしまいます。

前照灯角度の調整:

- ① ロービームを点灯させた状態で、車両を地面に対して垂直に置きます。
- ② オペレーターが車両に跨った状態で、光束角を確認します。
- ③ 前照灯両側の取付ボルトAを緩め、前照灯を上下に回転させることで照射高さを調整します。
- ④ 正しい照射角度は、10m先でロービームの明暗カットラインが地面から0.7~0.95mの位置にあることです。

灯具の交換
前照灯A／テールランプB／ウインカーCが故障した場合は、販売店に連絡して一式交換を行ってください。



オートバイの清掃

- 1 スポンジまたは清潔な柔らかい布、中性洗剤と水を使用して、バイクを優しく洗浄してください。
- 2 ダッシュボードの清掃時は細心の注意を払ってください。他の部品より傷がつきやすくなっています。
- 3 洗浄後、洗剤の残留物を完全に除去するため、水で十分にすすぎ洗いしてください。
- 4 柔らかい乾いたタオルでバイクを拭き取ってください。
- 5 洗浄後は、車両に異常がないか注意深く点検してください。

注意

ライトビーの清掃には、バイク部品を損傷しないよう、高圧洗浄機を慎重にご使用いただくことをお勧めします。

警告

洗浄後、走行開始前にブレーキシステムが正常に作動することを必ず確認してください。

注意

不適切な清掃はモーターサイクルを損傷する可能性があります。

ベアリング、シール、電気部品、プラグには高圧洗浄機を使用しないでください。ライトビー電動バイクの寿命を延ばすため、定期的な清掃とメンテナンスを行い、洗浄後は速やかに拭き取り乾燥させることを推奨します。

プラスチック部品には、刺激の強い化学製品を使用しないでください。強力な腐食性洗剤、溶剤、シンナー、燃料（ガソリン）、錆取り剤または錆防止剤、ブレーキフルード、不凍液、電解液に接触した布やスポンジの使用は避けてください。

ホイールとタイヤの洗浄

強力な酸性ホイールクリーナーの使用は避けてください。頑固な汚れを落とすためにこの種の製品を使用する場合は、短時間で洗浄し、すぐに乾燥させてください。

注意

タイヤは洗浄のみ必要です。タイヤのメンテナンスは一切不要です。

メンテナンス製品はタイヤと地面の摩擦を減らし、タイヤの早期劣化を招く可能性さえあります。

長期保管

長期間（30日以上）使用しないオートバイについては、バッテリーレベルを約40%から50%に維持し、ライトビーのメイン電源スイッチをオフにすることを推奨します。

バッテリーパックは保管中も徐々に放電します。少なくとも月に1回はバッテリーパックの残量を確認してください。バッテリー残量が20%を下回った場合は、40%から50%まで充電する必要があります。

長期保管

長期間（30日以上）使用しないオートバイについては、バッテリーレベルを約40%から50%に維持し、ライトビーのメイン電源スイッチをオフすることを推奨します。

バッテリーパックは保管中も徐々に放電します。少なくとも月に1回はバッテリーパックの残量を確認してください。バッテリー残量が20%を下回った場合は、40%から50%まで充電する必要があります。

ライトビーを再度ご使用になる際は、バッテリーパックを完全に充電し、最適な状態に回復させてください。パワーシステムの寿命を延ばすため、ライトビーは涼しく風通しの良い場所に保管してください。高温多湿の場所に保管すると、バッテリーパックと電気システムの寿命が短くなります。バッテリーおよび電気システムの詳細については、8.1ページを参照してください。

注意

ライトビーは、バッテリー残量が20%未満の状態では保管しないでください。バッテリーパックを20%未満で長期間放電すると、バッテリー寿命が短くなるか、バッテリーパックが損傷する可能性があります。過放電または長期にわたる極端な低バッテリーレベルによるバッテリーパックの損傷は、保証の対象外となります。

警告

認定された専門技術者のみがバッテリーパックのメンテナンスサービスを提供できます。

バッテリーパック内部部品の無許可操作は非常に危険です。バッテリーパックを分解しないでください！

ライトビー純正部品

ライトビーには、サーロン社が指定する部品およびアクセサリーの使用が必要です。ライトビー電動バイクのメンテナンス用純正スペアパーツは、販売店を通じて入手できます。

ヒューズ

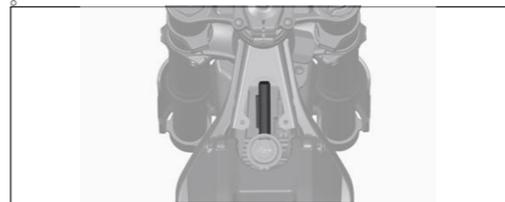
オートバイの電気システムには過電流保護装置が装備されています。ヒューズは使い捨ての保護装置であり、過負荷時には回路を保護するために溶断します。ヒューズを交換する際は、同じ仕様のモデルを使用してください。

注意

ヒューズが繰り返し切れる場合は、電気システムの点検のため販売店にご連絡ください。

ヒューズボックス

ヒューズボックスはUSBカバーの下にあります。



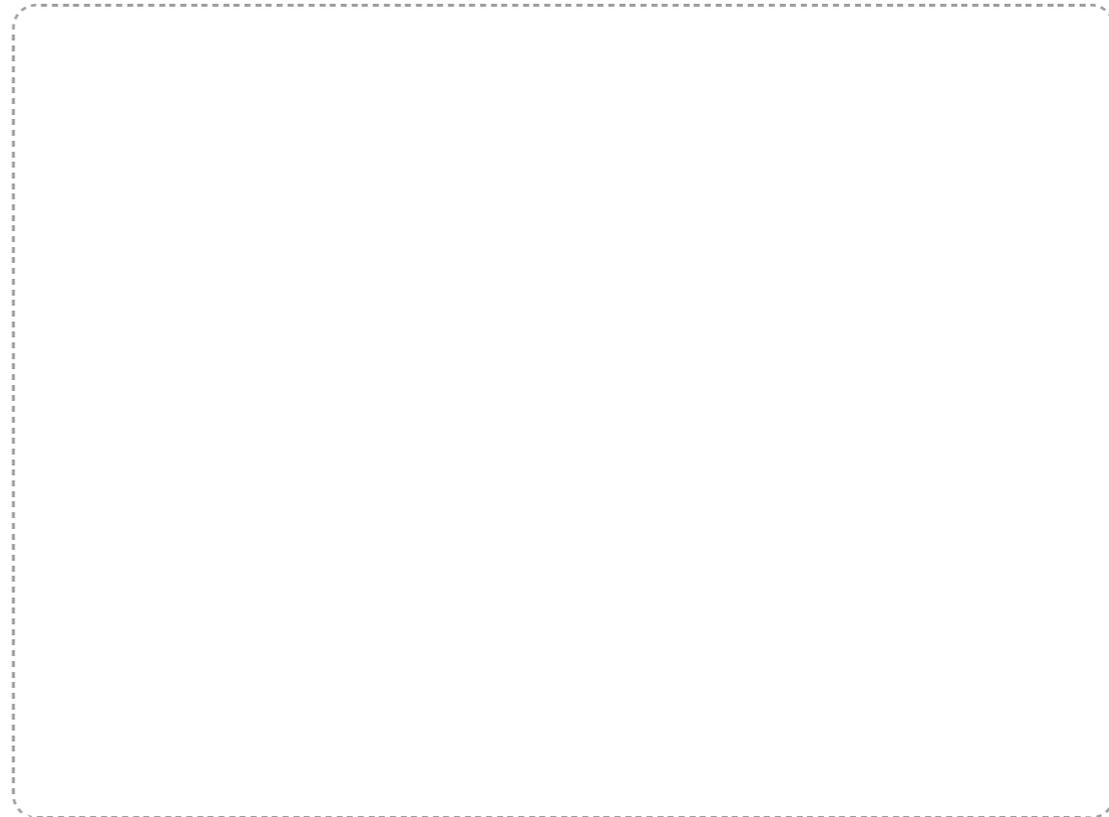
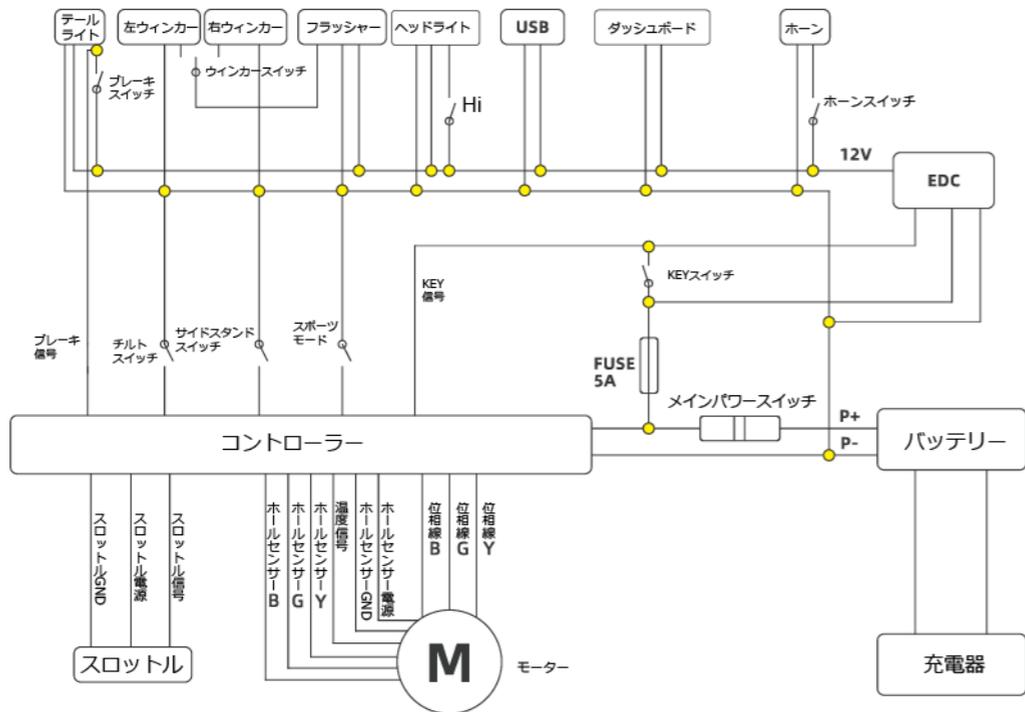
ヒューズボックスには保護キャップが付いており、ヒューズにアクセスするにはまずこのキャップを開ける必要があります。キャップを開けるには、ラッチをしっかりと押し下げ、キャップを開けてください。ヒューズの交換方法:

1. ヒューズボックスのキャップをつまみ、ヒューズボックスの右側に開けます。
2. 故障したヒューズを、同じ仕様のモデルと交換する。

注意

ヒューズボックスには予備のヒューズが入っています。

ライトビーム電気回路図



トラブルシューティング

軽蜂電動オートバイのトラブルシューティング
すべての軽蜂電動オートバイは、出荷前に厳格な品質検査を受けています。
しかし、検査を経た後でも技術的な問題が発生する可能性があります。

以下の情報は、問題の特定を助け、可能であればご自身でメンテナンスを行うためのガイドラインです。
もし問題を解決できない場合は、お手数ですがお近くの認定販売店まで車両をお持ちください。
お住まいの地域に販売店がない場合は、製造元のアフターサービスにお電話でお問い合わせください。

11.1

温度に関する注意事項

低温時の注意事項

寒冷地環境は、ライトビーのバッテリー容量に恒久的な影響を与えません。ただし、低温はバッテリーパックが放出できる電力量に影響を与える可能性があるため、ライダーは走行距離や出力の低下を感じる場合があります。

したがって、25°Cの環境と比較して0°C (32°F) 以下の環境で使用する場合 (77°F)、ライトビーは一時的に航続距離が約30%減少する場合があります。

極寒の天候下では、Light Beeは一時的に出力が低下し、最高速度に達しない場合があります。

気温が極端に低い状態での電動バイクの走行は推奨されません。その場合、バッテリーパックは充電時に0°C (32°F) 以上の周囲温度に置く必要があります。
Light Bee電動バイクのバッテリー管理システム (BMS) は、バッテリーメーカーの厳格な制限により、バッテリーパックの放電温度が-20°C (-4°F) を下回ることを許可しません。

ライトビーは適切な温度環境で保管することを推奨します。

以下の条件で保管をしてください。

- 推奨周囲温度：0°C以上
- 保管前にバッテリーパックを40%~50%まで充電してください。少なくとも月に1回はバッテリー残量を確認してください。バッテリー残量が30%を下回った場合は、40%~50%まで再充電してください。
- バッテリーパックは、周囲温度が0°C (32°F) 以上で充電する必要があります。バッテリー自身の保護機能により、内部温度が0°C (32°F) では充電できません。

トラブルシューティング

注意

バッテリーパック自身の保護機能により
バッテリーパックは0°C (32°F) 以下の温度では充電できません。同様に、冬季にバッテリーパックの温度が-20°C (-4°F) 以上であれば、バッテリー残量が30%以上を維持することでバッテリーパックの損傷を回避できます。

11.2

注意

ライトビーおよびバッテリーパックを、40°C (104°F) を超える環境や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。これによりバッテリー性能の劣化が加速する可能性があります。

保管温度が-20°C (-4°F) を下回ると、バッテリーパックの性能が永久的に低下する可能性があります。温度を-20°C以上に保ってください。

(-4°F) 以下の環境下では、バッテリーパックが冬季保管中に永久的な損傷を受けないよう、長期保管のガイドライン (1016ページの「長期保管」を参照) に従ってください。

高温環境

高温環境下では、バッテリーの性能変化は発生しません。ただし、バッテリーパックの温度が65°C (149°F) を超えると、モーターコントローラーが電力出力を制限します。温度がさらに上昇し続ける場合、バッテリー出力は停止されます。

(149°F) を超えると、モーターコントローラーが出力制限を行います。温度がさらに上昇し続ける場合、バッテリー出力は停止されます。

バッテリーの内部温度が60°C (140°F) を超えると、バッテリー管理システムは充電を許可しなくなります。

安全インタロック

バッテリーパックがライトビー電動バイクに接続された際、バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、バッテリーパックの損傷を防ぐため、以下の2つの対策のうち1つまたは両方が実施されます：

1. 乗車禁止。バッテリー残量が0の場合、またはバッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまでモーターサイクルの使用は禁止されます。
2. 充電禁止。バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまで充電を禁止します。

11.1

ライトビーのご使用上の注意

ライトビーには高電圧部品が搭載されています。ご使用の際は適切な予防措置を講じてください。高電圧部品は危険であり、感電、火傷、さらには重篤な人身事故を引き起こす可能性があります。

安全のため、常にオートバイ部品に貼付されているラベルの指示に従い、高電圧部品、ケーブル（オレンジ色の外管でマークされている）、またはコネクタに触れたり、取り外しや交換を試みたりしないでください。事故が発生した場合、ケーブルに接続されている高電圧端子や部品には絶対に触れないでください。電動バイクで火災が発生した場合は、まず自身の安全を確保し、その後クラスD消火器を使用して消火してください。炎が消えた後は、大量の水または水系消火器で冷却してください。

11.2

警告

ライトビーは60V高電圧システムを採用していません。
使用後、電源システムは高温になり触れない場合があります。高電圧と高温に注意し、電動バイクの安全規則と規制をすべて遵守してください。

重大な警告

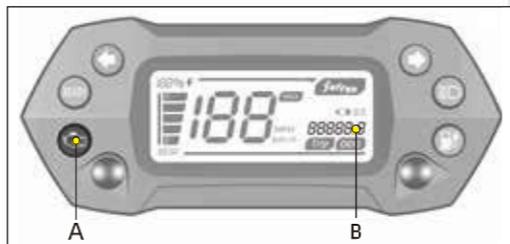
ライトビーの高電圧回路システムは、ユーザーによるメンテナンスを許可していません。高電圧部品、ケーブル、またはコネクタの取り外しや交換は、深刻な感電、火傷、さらには生命に関わる重傷を引き起こす可能性があります。



高電圧部品 配置区域

ライトビー 電動バイク注意事項

車両が故障を検知した場合、メーター上部のシステム警告インジケータAが点灯し、同時にメーター液晶のBエリアに対応する故障コードが表示されます。



原因と解決方法については、次のページの表をご参照ください。

メーター表示の故障リスト

故障コード	故障名称	故障対処方法
Er-208	コントローラパワートランジスタ故障	製造業者または販売店に連絡してください
Er-207	コントローラハードウェア過電流	車両の出力を制限して使用
Er-206	コントローラソフトウェア過電流	車両を再度通電しリセットする
Er-205	モーター相欠落による走行異常（カクつき）	モーター相線の接続が緩んでいないか確認する
Er-204	モーター位置センサー故障	製造業者または販売店に連絡してください
Er-202	コントローラ過熱による出力制限	車両出力をレベル1を制限して使用
Er-201	コントローラレベル2 過熱保護	停車してコントローラ温度が下がった後に使用する
Er-216	モーター過熱による出力制限	車両出力をレベル1を制限して使用
Er-215	モーターレベル2過熱保護	停車してコントローラ温度が下がった後に使用する
Er-213	母線レベル2低電圧保護	バッテリーを充電する
Er-212	スロットル暴走故障	アクセルスロットルが短絡していないか/正常に戻っているか確認する
Er-211	スロットル故障/スロットル信号異常	アクセルスロットルが短絡/破損していないか確認する
Er-232	モーター温度センサー故障	製造業者または販売店に連絡してください
Er-107	放電MOS故障	製造業者または販売店に連絡してください
Er-106	充電MOS故障	製造業者または販売店に連絡してください
Er-102	バッテリー温度センサー故障	製造業者または販売店に連絡してください

故障コード	故障名称	故障対処方法
Er-116	バッテリー放電過熱 レベル2故障	停車してバッテリー温度が下がった後に使用する
Er-209	コントローラ サンプリング故障	製造業者または販売店に連絡してください
AL-224	サイドスタンド断電保護	サイドスタンドスイッチが切れていないか確認する
Er-223	転倒保護	電動キーを再投入/転倒スイッチを確認する
Er-222	キー信号断電保護	電動キーおよびコントローラ配線を確認する
Er-221	バッテリーレベル1 低電圧による出力制限	バッテリーを充電する
Er-217	バッテリー通信故障	車両全体の通信配線を確認する
Er-105	バッテリー低電圧 レベル2保護	バッテリーを充電する
Er-114	バッテリー低温 レベル2 保護	バッテリー温度が上昇するのを待ってから使用する
Er-219	バッテリー一次過熱による出力制限	停車してバッテリー温度が下がった後に使用する
Er-002	コントローラおよびバッテリー通信異常	車両全体の通信配線を確認する
Er-218	バッテリーSOC残量過少保護	バッテリーを充電する
Er-117	バッテリーレベル1過熱警報	バッテリー温度が下がるのを待ってから使用する
Er-118	バッテリーレベル1低温警報	バッテリー温度が上昇するのを待ってから使用する
Er-119	バッテリーレベル1低電圧警報	バッテリーを充電する
Er-120	バッテリー放電MOS過熱警報	バッテリー温度が下がるのを待ってから使用する

一般的なトラブルシューティング

障害の説明	考えられる原因	トラブルシューティングの解決策
車両の電源が入らない	バッテリープラグが正しく接続されていない	バッテリープラグを確認
	バッテリーレベルが低すぎる	バッテリーパックを充電する
	バッテリーが温度保護状態に入りました	温度が正常に戻るまでお待ちください 動作状態に戻るまで
	メインケーブルのヒューズが切れています	すべてのケーブルを確認し、ヒューズを交換してください
	キースイッチが正しく作動していない	キースイッチケーブルの接続を確認 または新しいキースイッチと交換してください
	DCコンバータの故障	DCコンバーターを交換してください
車両の電源は入っているが動かない	バッテリーの故障	バッテリーを修理または交換してください サーロンアフターサービス拠点にて
	サイドスタンドスイッチ保護	サイドスタンドを収納する
	ブレーキオーバライドスイッチ保護	ブレーキ信号スイッチを確認
	チルトスイッチが作動しリセットされていない	キースイッチをオフにして再度オンにする その後、バイクを持ち上げる
	スロットルがアイドル位置にない電源投入時	スロットルストロークを確認し調整する
	バッテリー低レベル保護	バッテリーパックを充電してください
	モーター温度が高すぎます	走行を中止し、 温度が下がるまで待機
	コントローラ温度過昇	
サイドスタンドスイッチの故障	サイドスタンドスイッチを外すが交換してください	
チルトスイッチの故障	チルトスイッチを外すが交換する	

故障内容	考えられる原因	トラブルシューティングの解決策
車両の電源が入っているが動かない	スロットル接点の不良または損傷	スロットルを交換する
	コントローラープラグの接触不良	コントローラーのプラグを再挿入する
	モーターエンコーダーの接触不良	モーターエンコーダの接続を確認
	コントローラーまたはモーターエンコーダーの故障	コントローラーまたはモーターの修理/交換はサーロンアフターサービス拠点にて
車両の電源が入っているがバッテリー表示なし	バッテリーインジケータが正しく接続されていない	バッテリーを修理または交換してください。Surronアフターサービス拠点にて
	バッテリーインジケータが破損している	バッテリーを修理または交換してください。Surronアフターサービス拠点にて
充電器が動作しない	バッテリーが温度保護状態に入る	温度を正常な動作状態に戻す 動作状態に戻るまで
	充電器プラグの接触不良	充電プラグを再挿入してください
	充電器の故障	充電器を交換してください
	バッテリーの故障	バッテリーを修理または交換してください。サーロンアフターサービス拠点にて
無効な走行モード モード/出力制限	バッテリー残量が不足しています	バッテリーパックを充電してください
	バッテリー温度保護	温度が動作状態に戻るまでお待ちください
	モーターまたはコントローラーの温度が高すぎます	
走行モードスイッチの故障	走行モードスイッチを交換してください	
USBポートに電力供給なし	USBプラグの接触不良	USBプラグの接続を確認
	USBコンバーターの故障	USBコンバーターを交換する

注記

上記の内容は随時更新・補足される可能性があります

内容を更新・補足する場合がございます。最新バージョンは販売店または公式ウェブサイトでご確認ください。

保証約款

保証の発効

Surron の車両保証は、株式会社コハクジャパン（以下当社）と車両売買契約並びにアフター・サービス契約を締結した販売店（以下「Surron 取扱店」）が Surron 納車品質確認兼保証書へ必要事項を入力、送信後、有効となる。

有効な保証条件

株式会社コハクジャパンは以下の声明を行います。

本保証条件に記載された期間内において、当社が提供する修理用材料および主要部品は、本保証条件に基づき保証されます。

保証期間中に発生した製造上の欠陥については、本保証条件に基づき、該当車両の修理または交換を行います。本保証は、当社が正規に販売した車両であり、正規販売店により正しく設置・点検・引き渡しが行われ、かつ本説明書および付属する関連文書に従い正しく使用・保守された場合にのみ適用されます。

原則として、車両購入後1週間以内に、車両情報登録／引き渡し点検書を完全に記入し、当社の車両登録プラットフォームへ提出していない場合、本保証は無効となります。

保証期間

Surron の車両は顧客が製品を購入、保証手続完了後（車両登録後）下記の期間または走行距離を超過した場合のいずれか早い方を適用。また、通常の取扱い及び定期点検の受検車両を対象に、生産上の欠陥、材質に起因する不具合において、規定に従って修理または交換の実施を保証する。

Light Bee L: 12ヶ月または5000Km

※競技会とは、主催者が存在し順位・計測を伴う走行を指す。

----- 注意 -----

Surronが製造した車両を商業用途（レンタル等）で使用した場合、または商業用途に準ずる使用と認定された場合、保証期間は購入日から30日間となります。

保証期間は車両購入日より開始し、所定の条件を満たした場合にのみ有効です。

保証の継承について

本保証は譲渡不可であり、初回所有者のみに適用されます。

保証約款

保証修理の適用

保証修理のための移動、運搬は購入者の責任において、Surron 取扱店へ持ち込む必要がある。その際、登録書類、保証書、点検実施の確認のできる書類を持参する必要がある。

保証修理は Surron 取扱店の認められている作業場でのみ行うことができ、不具合の確認後直ちに行う必要がある。

保証修理の対応期間および部品供給について

保証修理に要する期間は、不具合内容の確認、原因調査、部品手配および修理作業等を含め、合理的な期間を要するものとします。

修理に必要な部品が国内に在庫されていない場合、海外からの取り寄せとなることがあり、その際は輸送状況、通関手続きその他の事情により、修理完了までに相応の期間を要する場合があります。

保証修理の実施にあたり、当社またはSurron取扱店は、修理完了時期について目安を案内することはありますが、特定の完了日を保証するものではありません。また、保証修理期間中における代替車両の貸与は原則として行いません。

保証対象部品

当社は、Surronの工場で製造された車両において、製造材料および製造工程上の欠陥があった場合、本保証条件に基づき、保証期間内に発生した部品（ゴム類や油脂類等の消耗部品を除く）の不具合について、無償で修理または交換を行います。

保証適用外

車両部品に欠陥があり、かつ人為的な交換が必要な場合、工賃および材料費は車両所有者の負担となります。

修理作業は必ずSurron取扱店で行う必要があります。

事前に当社または取扱店へ連絡した場合を除き、Surron取扱店以外、または《軽量電動バイク取扱説明書》に反する自己交換・改造によって生じた不具合は、保証対象外となります。

また、非純正部品の装着、車両制御・電装系・ソフトウェア設定の変更、ならびに当社が許可していない改造・調整・使用状況が確認された場合、その内容がSNS、動画投稿サイト、その他媒体への公開・非公開を問わず、当該改造・使用に起因すると判断される不具合については保証対象外となります。

保証約款

保証の可否

保証修理適用の可否については、Surrön取扱店において、当社が定める保証基準および技術判断に基づき、購入車両と不具合の状況を確認の上で判断します。

使用者の遵守事項

道路運送車両法では日常点検と定期点検の実施が義務付けられている。

定期交換部品、油脂類の交換は指定された頻度で行うこと。
ユーザーマニュアル記載の取扱い方法にしたがって適切に使用すること。

バッテリーの劣化防止のため、使用していない場合でも3ヶ月に1回以上の充電すること。長期保管の場合、過放電防止のため50%程度の容量で保管をすること。

保証適用外の事項(以下の原因による故障または不具合は保証対象外)

通常の使用による摩耗、傷、自然劣化、自然退色

購入した製品を、取り扱いに関する指示書(ユーザーマニュアル、メンテナンススケジュールなど)に従わなかった場合

購入した製品がサービスの提供を認可されていない作業場により整備された場合

Surrön から使用が許可されていない部品が装備された場合

購入した製品を Surrön が許可しない方法で改造した場合

不注意または不適切な取扱いや誤用(競技等の目的で使用、上記の期間を除く)

不適切な保管に起因した問題

機能や性能に影響のない感覚的な事象(音、振動、液体のしみなど)

転倒、追突、衝突などの事故に起因する不具合

天災および火災に起因する不具合

煤煙、降灰、酸性雨、オイル、薬品、鳥糞、塩害、飛石に起因する不具合

結露など、自然現象や環境条件に起因する不具合

経年変化による劣化とみなされる症状

車両が盗難・放火・悪戯等により被った損害

Surrön が指定した規格以外の油脂を使用したことに起因する不具合

異常を発見していたのにも関わらず放置、継続使用したことに起因、拡大した不具合 消耗部品及び油脂類等(タイヤ・ブレーキパッド等を含む、バッテリーは別途)

法令及び Surrön が指定する点検整備、その他の点検、調整、清掃ならびに定期交換部品 車両を使用できなかったことによる損失(通信費、引き取り納車費用、交通費、宿泊費、休業補償、商業損失)

Surrön 純正品以外の部品

アクセサリやコンポーネントを車両に取り付け、接続したことによる動作の変化、純正部品の損傷、電気系の不具合、データ損失

保証期間内に確認された不具合にもかかわらず、保証期間終了後に報告した場合の修理費

また、本保証は以下の損失には適用されません:

使用不能による損失

車両価値の低下

利益損失

人的・物的損害

間接的・付随的・特別損害

営業損失

レンタル不能

イベント参加不可

その他

ただし、当社の故意または重過失、ならびに製造物責任法に基づく責任については、この限りではありません。

保証規定により取り外された部品は株式会社コハクジャンの所有物となる。

保証約款

ライトビーの点検・整備後、適切な整備記録が記入されていることを必ずご確認ください。「備考」欄に、次回点検時に確認したい事項やご自身で覚えておきたい内容を記録してください。

100KM

走行距離計の読み取り値	実施者	日付	
保守記録			
備考			

13.3

500km

走行距離	実施者	日付	
整備記録			
備考			

13.4

1000KM

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
整備記録					
備考					

13.3

2000km

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
整備記録					
備考					

13.4

5000KM

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
整備記録					
備考					

10000km | 12ヶ月

走行距離		実施者		日付	
整備記録					
備考					

別紙

ライトビー電動バイク アフターサービス記録シート					
	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
1					
2					
3					
4					
5					

別添

ライトビー電動バイク アフターサービス記録シート					
	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
6					
7					
8					
9					
10					

パラメータリスト	
車両モデル	QL3000DY-B
寸法	1855x780x1080mm
最低地上高	270mm
シート高	830mm
乾燥重量/車両重量	60Kg
積載量	100kg
タイヤ	フロント オフロード-70/100-19 リア オフロード-3.00-18
アシスト機能	回生ブレーキ (SPORTモード時)
ホイールベース	1255mm
フロントフォークストローク	200mm
リアショック/ホイールストローク	85/210mm
電力システム	PMSM+FOC正弦波コントローラ
定格出力	1000W
最大出力	8000W
最大トルク	266N· m
最高速度	75km/h
航続距離	75km (@40km/h)
バッテリータイプ	リチウムイオン電池 60V/40Ah
走行モード	Sports+ Ecoモード
充電時間 (20-80%)	2時間
フレーム設計	アルミ鍛造フレーム